

令和6年度 第3回 南城市地域公共交通会議資料

# 南城市地域公共交通計画策定に向けた調査結果 (市民アンケート)

令和7年2月18日

南 城 市

## 1 調査実施概要

- 将来的な利用ニーズ、交通計画の方向性、将来のあり方などに関する定性的な意見を把握するため、18歳以上の市民を対象としたアンケートを実施しました。
- 調査は自治会長の協力のもと、調査実施を呼びかけるチラシを計2,190部配布し、1,480票の回答を得ました。

表 1.調査実施概要

項目	内容
調査目的	市民の日常的な移動実態や公共交通の利用状況等の把握
調査対象	南城市内居住の18歳以上の方
調査方法	自治会長による配布、郵送回収、チラシに記載されたQRコードからWEBで回答
配布票数	73自治会×30部=2,190部 ※人口が多い行政区については配布部数を追加し、合計3,000部 市の広報誌、市のSNS等でWEB回答について発信
回収目標	回収率25%と想定して約750票
回数票数	1,480票
回収率	27.4%（郵送回収599票のみで計算）
調査実施時期	令和6年11月の1か月間

表 2.回収票数

区分	票数
郵送回収	599票
WEB回答	881票
計	1,480票

## 2 回答者の属性

### 2.1 性別・年代

- 回答者の男女比は 35 : 63 と女性の比率が非常に高くなっています。
- 年代は「40代」が 22%と最も多く、「30代」～「70代」が各 15%前後と幅広い年代から回答を得ています。

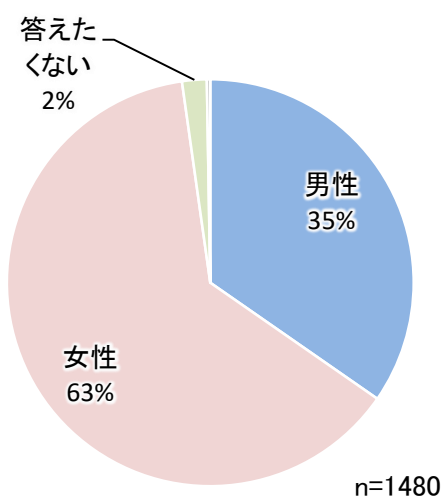


図 1.回答者の性別

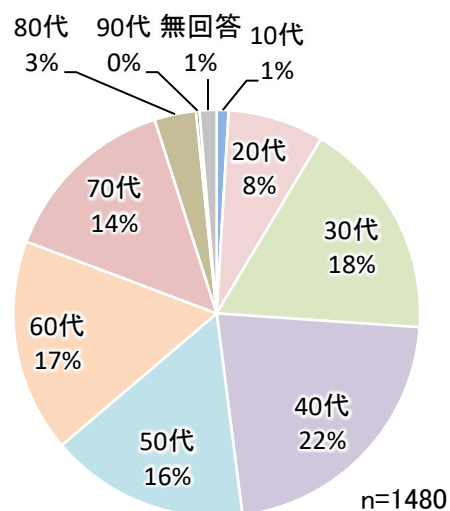


図 2.回答者の年代

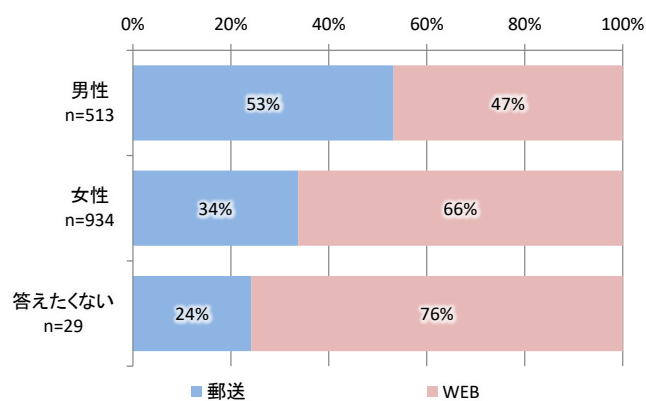


図 3.回答方法別の回答者の性別

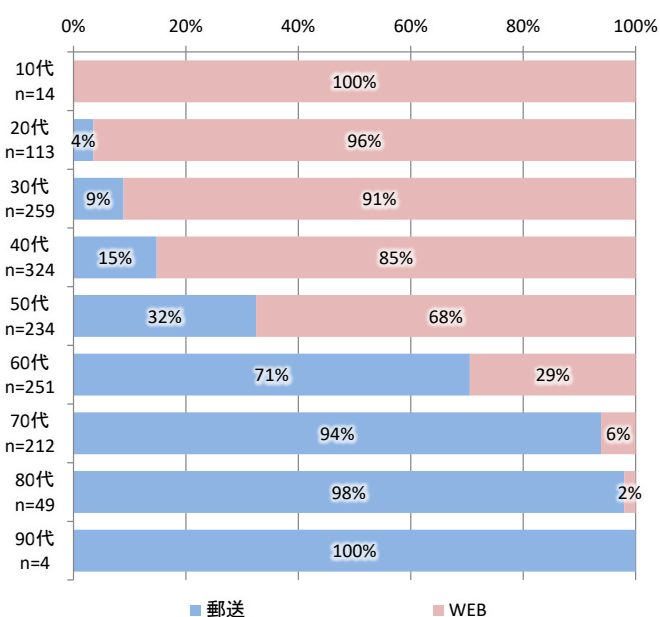


図 4.回答方法別の回答者の年代

## 2.2 職業

●回答者の職業は「会社員」が33%と最も多く、次いで「パート・アルバイト」18%、「無職」16%の順に多くなっています。

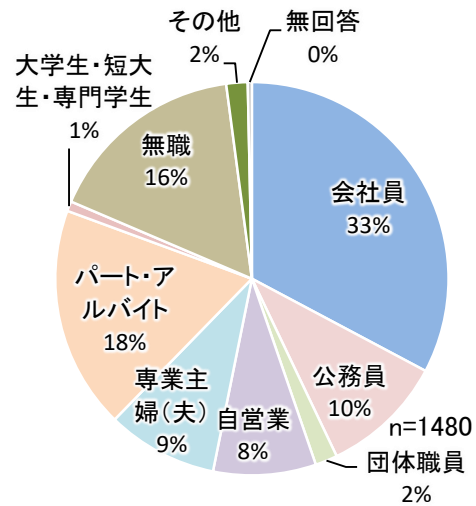


図 5.回答者の職業



## 2.3 回答者の居住地

- 地域別では「大里」30%、「佐敷」26%、「玉城」26%、「知念」11%、「つきしろ」4%の順に多くなっています。
- 地区別では、「佐敷北」が10%と最も多く、次いで「大里中」9%、「佐敷東」、「玉城西」、  
「大里北」が7%と多くなっています。

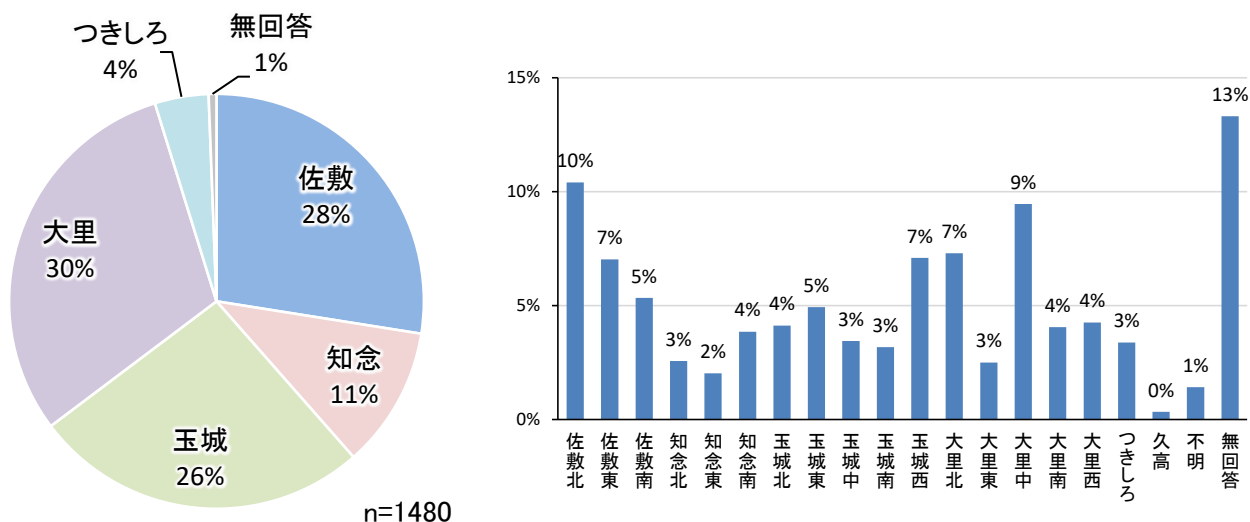


図 6.回答者の居住地(左:地域別、右:地区別)

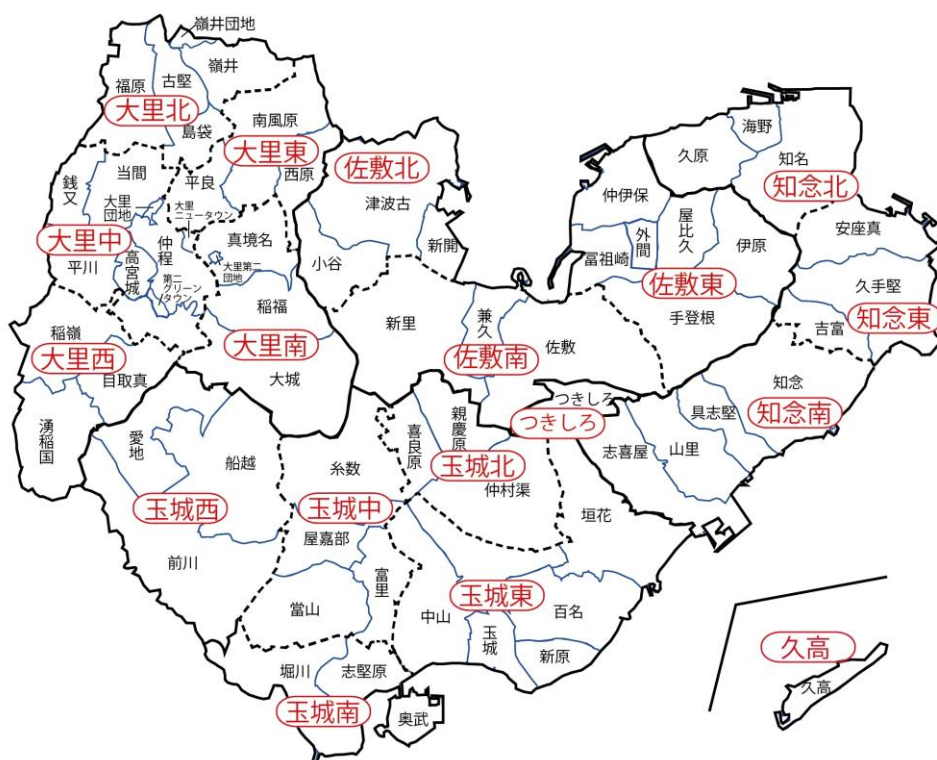


図 7.地区区分

## 2.4 運転免許・自動車の保有状況

- 回答者の94%が運転免許証を保有、80%が自分専用の車を持っています。
- 10代の運転免許保有率は29%、自分専用の車の保有率は21%と低いですが、20代～60代は、95%以上が運転免許証を保有、80%以上が自分専用の車を持っており、多くの方がマイカーで自由に移動できる状況となっています。
- 80代の29%は運転免許証を返納しているものの、一方で57%は運転免許証を保有、49%が自分専用の車を持っており、半数の方は、マイカーで移動できる状況となっています。

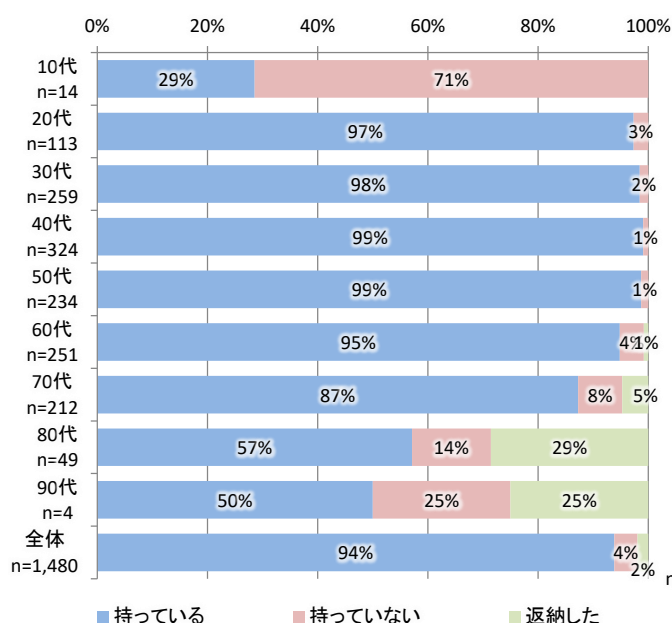


図 8.年代別の自動車運転免許の保有状況

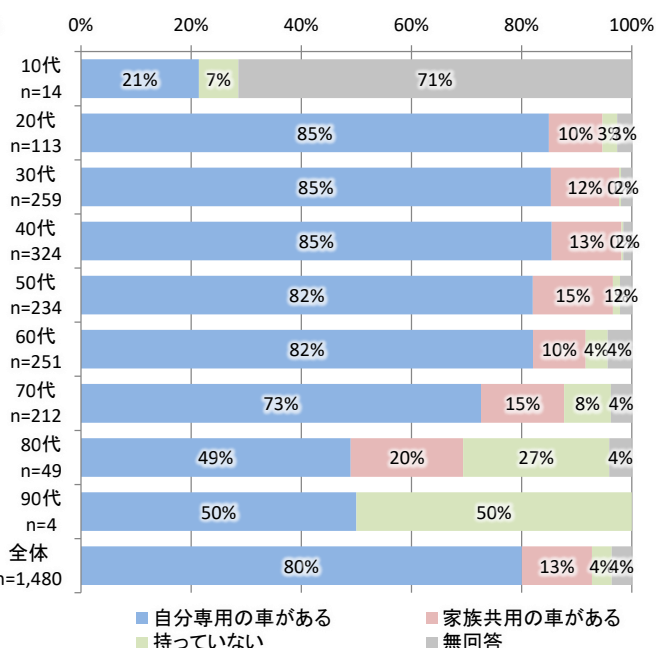


図 9.年代別の自動車の保有状況

## 2.5 運転免許証の返納意向

- 年代が高くなるほど、運転免許証の返納意向は高くなる傾向を示しており、「将来は返納する予定」と回答した割合は、60代が43%、70代が39%、80代が68%を占めています。
- 「返納したいが、他の移動手段がないから返納できない」の割合も各年代で一定数みられ、70代では10%、80代では14%が回答しています。

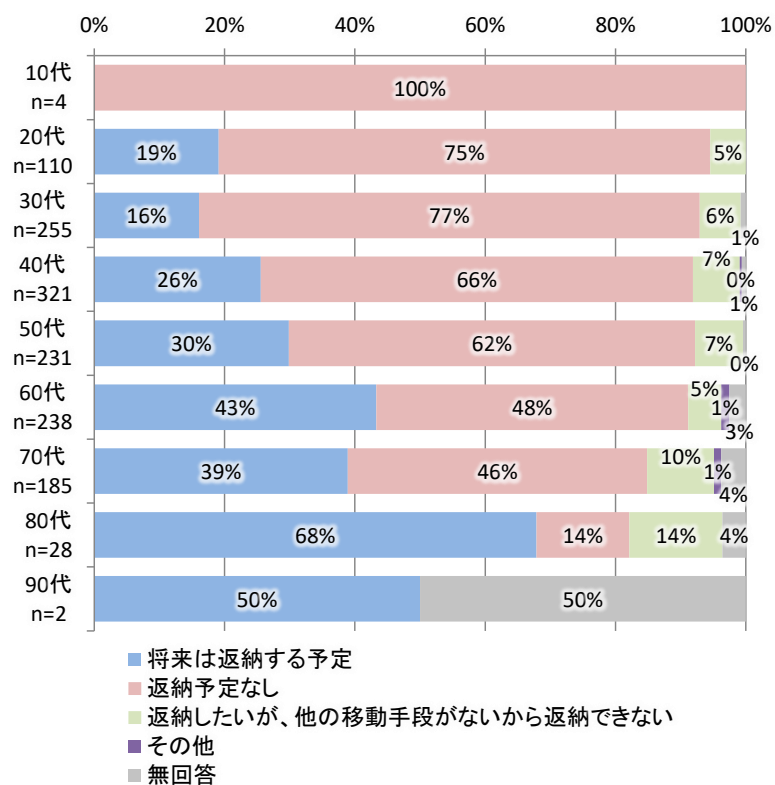


図 10.年代別の運転免許証の返納意向

### 3 通勤・通学の移動実態

#### 3.1 通勤・通学での外出の有無

- 通勤目的で20代～50代の8割～9割が外出しています。
- 60代では52%と過半数の方が通勤していますが、70代は19%と通勤している人の割合が2割程度に減少します。
- 外出頻度をみると、20代～50代の90%が「週に5日以上」の頻度で外出しています。
- 60代で73%、70代で61%と高い年代でも通勤目的で「週に5日以上」外出している方は多くみられます。

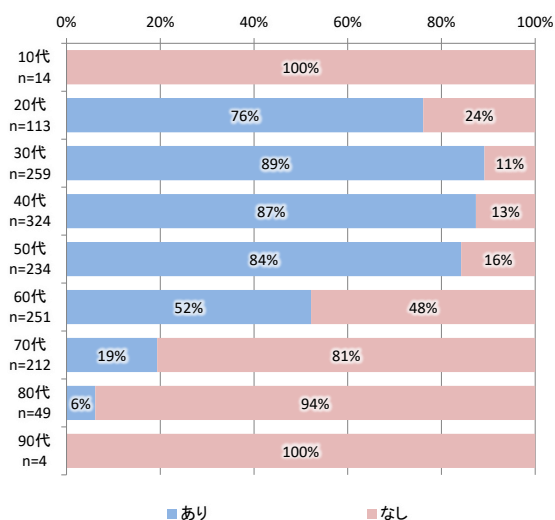


図 11.年代別の通勤目的での外出ありの割合

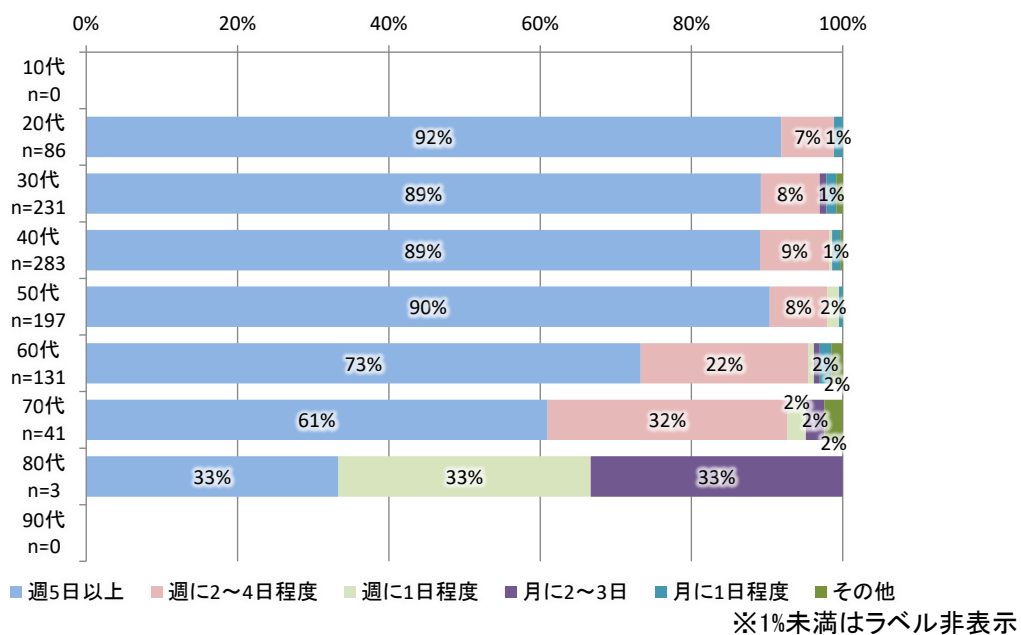


図 12.年代別の通勤での外出の有無

- 通学目的での外出は、10代が非常に多く、79%が通学しています。
- 外出頻度は、各年代ともに「週に5日以上」の頻度での外出が多くなっています。

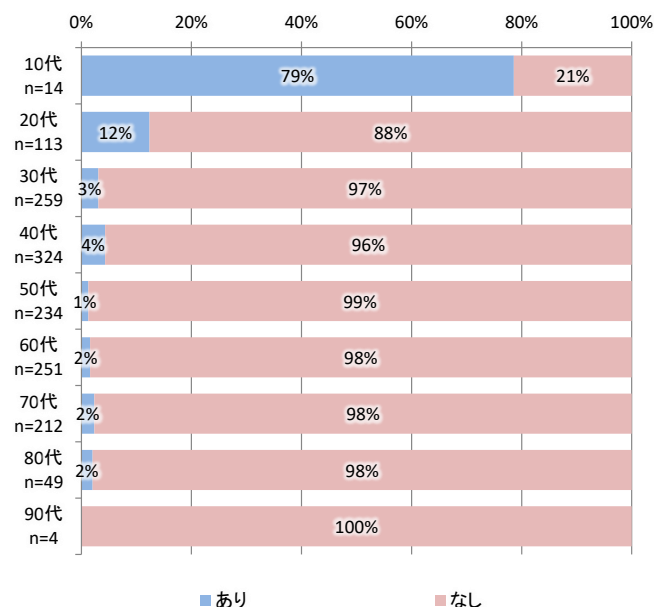


図 13.年代別の通学目的での外出ありの割合

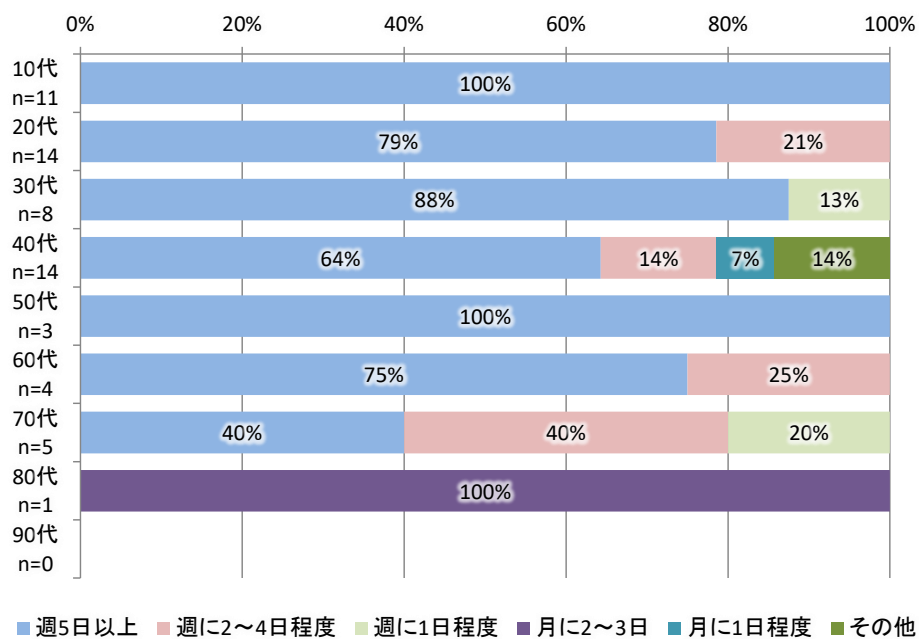


図 14.年代別の通学での外出の有無

## 3.2 通勤・通学先

### (1) 通勤先

●佐敷地域、知念地域は市内に通勤通学している割合が 40%～50%と比較的高くなっていますが、大里西地区を除く大里地域は市内での通勤割合が、30～40%と低く、那覇市への通勤が 20%程度、南風原町への通勤が 10%程度と市外への通勤が多くなっています。

表 3.居住地区別の通勤先の構成比

	南城市	那覇市	南風原町	八重瀬町	豊見城市	浦添市	西原町	その他	合計
佐敷北 (n=105)	48%	14%	5%	4%	4%	2%	9%	15%	100%
佐敷東 (n=53)	45%	23%	6%	6%	2%	2%	4%	13%	100%
佐敷南 (n=56)	38%	13%	9%	4%	9%	11%	7%	11%	100%
知念北 (n=19)	42%	16%				11%	16%	16%	100%
知念東 (n=20)	45%	10%	5%	15%	5%	5%		15%	100%
知念南 (n=26)	46%	15%	8%	12%			15%	4%	100%
玉城北 (n=40)	50%	20%	5%		5%	3%	5%	13%	100%
玉城東 (n=46)	41%	15%	4%	7%	2%	11%	2%	17%	100%
玉城中 (n=44)	48%	16%	5%	9%	5%	2%	2%	14%	100%
玉城南 (n=37)	41%	22%	3%	19%	11%		3%	3%	100%
玉城西 (n=86)	38%	21%	8%	5%	7%	7%	5%	9%	100%
大里北 (n=76)	28%	20%	12%	7%	3%	9%	7%	16%	100%
大里東 (n=28)	36%	21%	11%	11%		7%		14%	100%
大里中 (n=118)	30%	18%	14%	7%	12%	4%	1%	15%	100%
大里南 (n=44)	36%	34%	5%	5%	2%	5%	2%	11%	100%
大里西 (n=45)	49%	9%	11%	4%	4%	4%		18%	100%
つきしろ (n=38)	42%	18%	8%	3%	11%	5%	8%	5%	100%
久高(n=2)	50%	50%							100%
不明 (n=11)	45%	9%				9%	9%	27%	100%
無回答 (n=79)	56%	6%	6%	5%	1%	3%	6%	16%	100%
全体 (n=973)	41%	17%	8%	6%	5%	5%	5%	13%	100%

(2) 通学先

- 約半数の47%が南城市内に通学しています。
- 市外では那覇市への通学が12%、与那原町が8%と多くなっていますが、通学先の市町村は分散しています。

表 4.居住地区別の通学先の構成比

	南城市	那覇市	与那原町	西原町	南風原町	宜野湾市	八重瀬町	その他	合計
佐敷北 n=7	14%	29%	14%	14%		14%	14%		100%
佐敷東 n=2	50%		50%						100%
佐敷南 n=2	100%								100%
知念北 n=4	75%		25%						100%
知念東 n=	-	-	-	-	-	-	-	-	-
知念南 n=4	25%	25%			25%			25%	100%
玉城北 n=2	50%		50%						100%
玉城東 n=4	25%		25%	25%	25%				100%
玉城中 n=1					100%				100%
玉城南 n=1	100%								100%
玉城西 n=5	40%					20%	20%	20%	100%
大里北 n=3		67%						33%	100%
大里東 n=	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大里中 n=5	60%	40%							100%
大里南 n=4	50%							50%	100%
大里西 n=4	50%			25%		25%			100%
つきしろ n=2	100%								100%
久高 n=	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明 n=6	67%						17%	17%	100%
無回答 n=4	50%			25%	25%				100%
全体 n=60	47%	12%	8%	7%	7%	5%	5%	10%	100%

### 3.3 主な移動手段

#### (1) 通勤時

- 通勤時の移動手段としては「車（自分で運転）」が81%と最も多く、公共交通は、「路線バス（市外線）」が4%、「Nバス（市内線）」が3%の利用となっています。
- 路線バスの利用は玉城北地区が12%、大里東地区が14%と高くなっています。

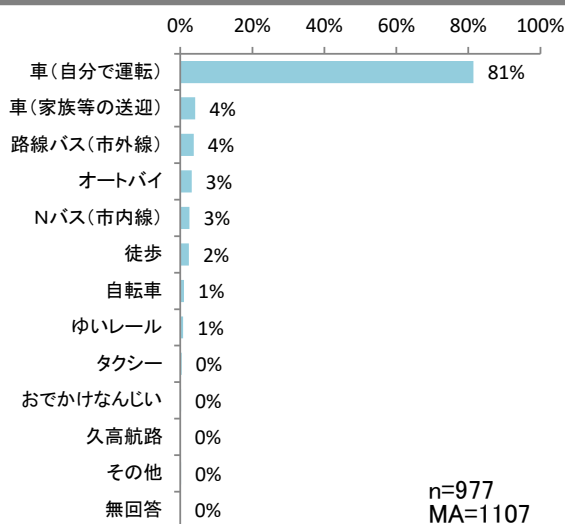


図 15.通勤時の主な移動手段(複数回答)

表 5.居住地区別の通勤時の主な移動手段(複数回答、抜粋)

	車(自分で運転)	車(家族等の送迎)	路線バス	Nバス	徒歩・自転車
佐敷北(n=105)	90%	7%	6%	3%	7%
佐敷東(n=55)	98%	4%	4%	7%	9%
佐敷南(n=56)	95%	4%	2%	—	—
知念北(n=19)	95%	5%	5%	5%	—
知念東(n=20)	100%	—	—	—	10%
知念南(n=26)	92%	8%	4%	—	—
玉城北(n=41)	88%	7%	12%	7%	7%
玉城東(n=46)	91%	4%	9%	7%	—
玉城中(n=44)	93%	2%	—	2%	2%
玉城南(n=37)	95%	3%	3%	—	3%
玉城西(n=86)	91%	6%	2%	2%	—
大里北(n=76)	91%	—	—	—	7%
大里東(n=28)	86%	7%	14%	7%	11%
大里中(n=118)	90%	7%	7%	3%	3%
大里南(n=44)	98%	5%	2%	2%	2%
大里西(n=45)	98%	7%	2%	—	2%
つきしろ(n=38)	95%	—	5%	5%	3%
久高(n=2)	100%	—	—	—	—



## (2) 通学時

- 通学時の移動手段は「車（自分で運転）」が 52%と多く、次いで「車（家族等の送迎）」27%とマイカーでの通学が約 8 割を占めています。
- 市内での公共交通の利用は「N バス（市内線）」が 7%、「路線バス（市外線）」が 5%を占めています。

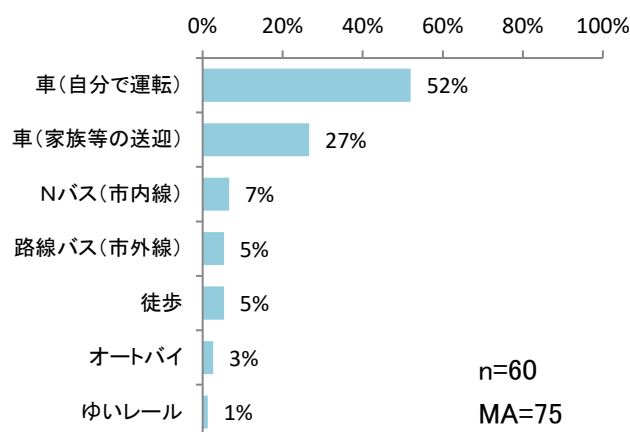


図 16.通学時の主な移動手段(複数回答)

表 6.居住地区別の通学時の主な移動手段(複数回答、抜粋)

	車(自分で運転)	車(家族等の送迎)	路線バス	N バス	徒歩・自転車
佐敷北(n=7)	71%	14%	14%	—	14%
佐敷東(n=2)	—	100%	—	—	—
佐敷南(n=2)	100%	—	—	—	—
知念北(n=4)	50%	25%	—	25%	—
知念東(n=0)	—	—	—	—	—
知念南(n=4)	100%	50%	—	25%	25%
玉城北(n=2)	50%	50%	50%	50%	50%
玉城東(n=4)	75%	25%	—	—	—
玉城中(n=1)	—	100%	100%	—	—
玉城南(n=1)	100%	—	—	—	—
玉城西(n=5)	80%	40%	—	—	—
大里北(n=3)	33%	33%	—	—	—
大里東(n=0)	—	—	—	—	—
大里中(n=5)	80%	20%	—	20%	—
大里南(n=4)	50%	25%	25%	—	25%
大里西(n=4)	75%	25%	—	—	—
つきしろ(n=2)	50%	—	—	50%	—
久高(n=0)	—	—	—	—	—

## 4 買い物の移動実態

### 4.1 買い物での外出の有無

- 10代の86%、20代以上は100%近い人が買い物目的で外出しています。
- 外出頻度は、各年代とも「週に2日～4日程度」が50%～60%前後と最も多くなっています。
- 年代が高くなるほど、「週に5日以上」が少なく、「週に1日程度」、「月に2～3日程度」が多くなるなど、買い物での外出頻度が少なくなる傾向にあります。

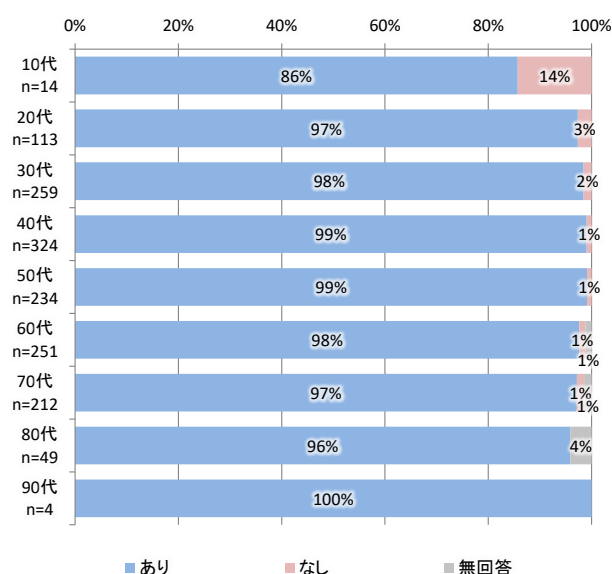


図 17.年代別の買い物目的での外出ありの割合

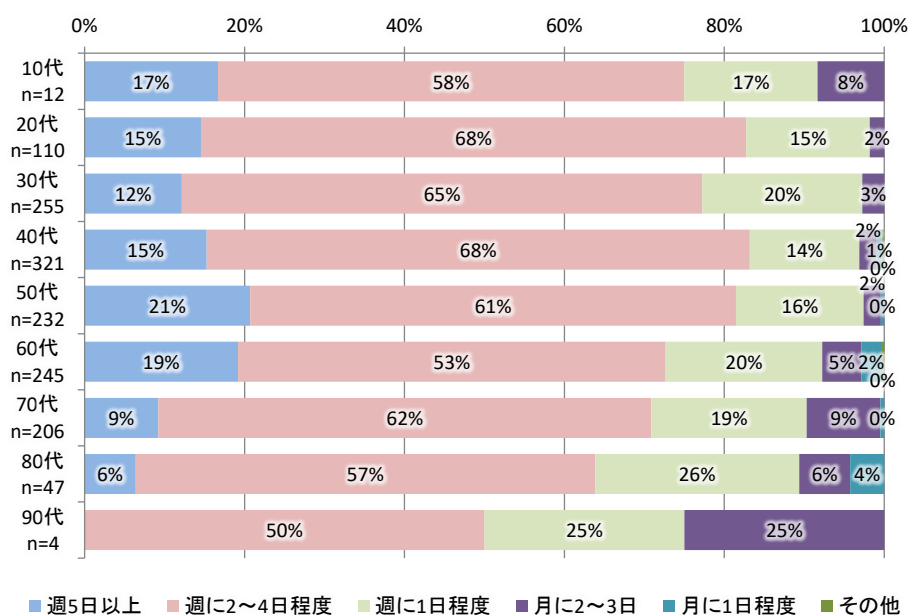


図 18.年代別の買い物での外出の有無

## 4.2 買い物先

- 買い物先は市内が 57%と多く、その他では八重瀬町が 19%、与那原町が 12%と多くなっています。
- 佐敷地域は与那原町への買物が、玉城地域、大里地域は八重瀬町への買物が多くなっています。

表 7.居住地区別の買い物先の構成比

	南城市	八重瀬町	与那原町	南風原町	西原町	那覇市	その他	合計
佐敷北 n=148	63%	1%	20%	7%	4%	2%	3%	100%
佐敷東 n=97	62%	1%	29%	1%	7%			100%
佐敷南 n=79	49%	5%	29%	8%	4%	4%	1%	100%
知念北 n=36	72%		11%		14%		3%	100%
知念東 n=27	63%		15%	7%	4%	4%	7%	100%
知念南 n=54	56%	28%	11%	2%	4%			100%
玉城北 n=55	62%	16%	13%	4%	2%		4%	100%
玉城東 n=67	64%	24%	6%	4%		1%		100%
玉城中 n=50	50%	38%	2%	6%		2%	2%	100%
玉城南 n=47	38%	49%		2%		6%	4%	100%
玉城西 n=104	32%	60%	2%	6%			1%	100%
大里北 n=104	61%	4%	10%	22%		4%		100%
大里東 n=36	64%	8%	17%	11%				100%
大里中 n=135	74%	13%	1%	11%	1%		1%	100%
大里南 n=58	53%	21%	3%	19%	3%			100%
大里西 n=61	34%	61%		2%		3%		100%
つきしろ n=49	57%	10%	16%	8%	4%		4%	100%
久高 n=4	50%			50%				100%
不明 n=21	33%	24%	14%	10%	5%		14%	100%
無回答 n=173	62%	16%	14%	2%	2%	1%	2%	100%
全体 n=1,405	57%	19%	12%	7%	2%	1%	2%	100%

### 4.3 主な移動手段

- 買い物時の移動手段は「車（自分で運転）」が89%、「車（家族等の送迎）」が10%とマイカーの利用が非常に多く、その他では「徒歩」が4%を占めています。
- 公共交通の利用は「Nバス（市内線）」が2%、「路線バス（市外線）」、「おでかけなんじい」が1%を占めています。

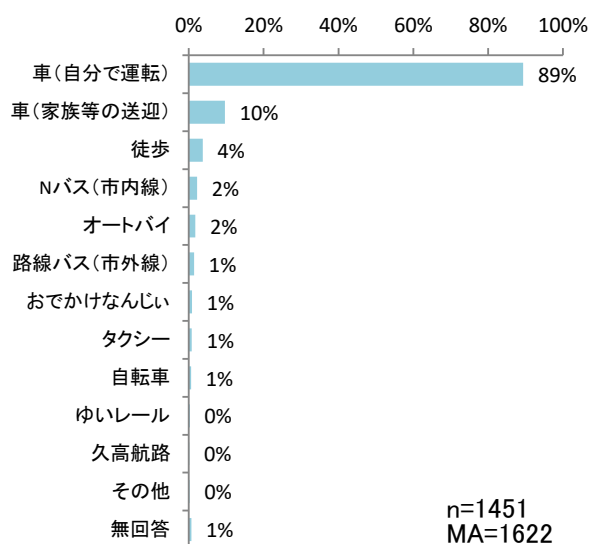


図 19.買い物時の主な移動手段(複数回答)

表 8.居住地区別の買い物時の主な移動手段(複数回答、抜粋)

	車(自分で運転)	車(家族等の送迎)	路線バス	Nバス	徒歩・自転車
佐敷北(n=152)	84%	7%	3%	1%	19%
佐敷東(n=103)	83%	14%	2%	7%	5%
佐敷南(n=79)	92%	13%	1%	—	3%
知念北(n=37)	95%	8%	—	—	—
知念東(n=29)	93%	10%	—	3%	—
知念南(n=56)	89%	7%	—	4%	2%
玉城北(n=60)	90%	12%	—	—	—
玉城東(n=70)	89%	11%	3%	4%	—
玉城中(n=51)	98%	2%	—	—	—
玉城南(n=47)	96%	2%	2%	2%	2%
玉城西(n=104)	95%	8%	—	1%	—
大里北(n=106)	90%	7%	1%	1%	5%
大里東(n=36)	92%	8%	3%	3%	8%
大里中(n=136)	93%	9%	—	—	4%
大里南(n=60)	95%	13%	3%	—	—
大里西(n=62)	90%	11%	2%	—	3%
つきしろ(n=49)	94%	10%	2%	6%	2%
久高(n=4)	50%	—	50%	50%	—

## 5 通院の移動実態

### 5.1 通院での外出の有無

- 通院で外出している人の割合は、年代が高くなるほど高くなっており、60代の74%、70代の84%、80代の92%が通勤目的で外出しています。
- 通院頻度は、各年代とも「月に1日程度」が最も多く、50%～60%前後を占めています。
- 割合は低いですが、年代が高いほど「週に2～4日程度」の割合が高くなる傾向にあります。

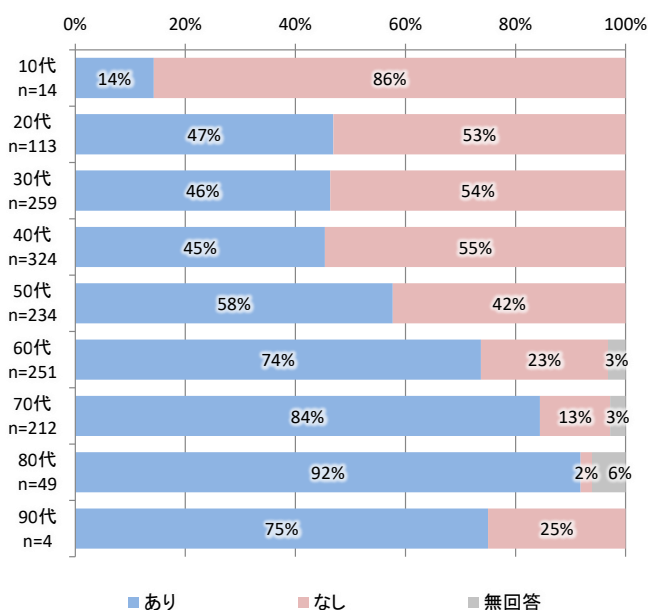


図 20.年代別の通院目的での外出ありの割合

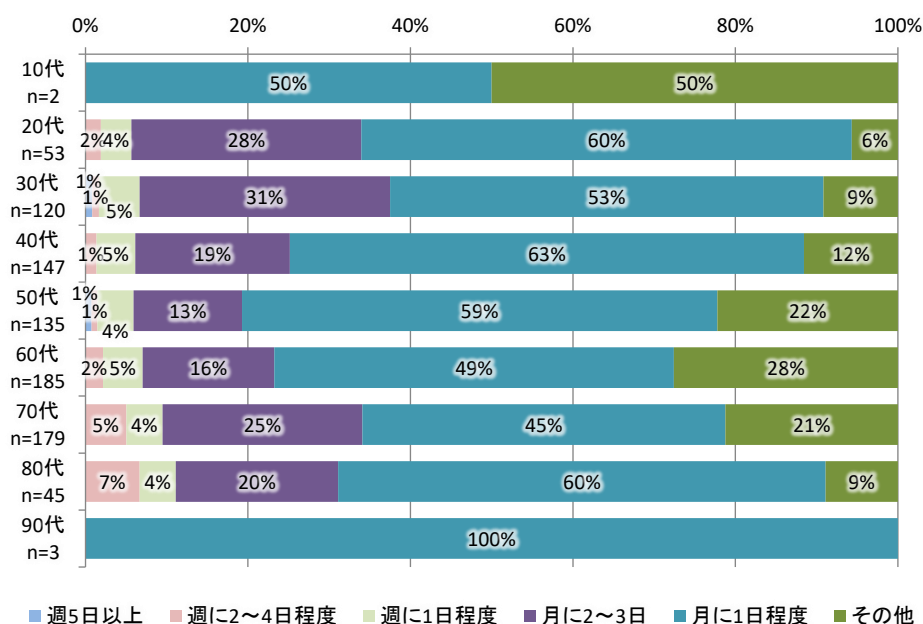


図 21.年代別の通院での外出の有無

## 5.2 通院先

- 通院先は市外が多く、南城市内での通院は 28%にとどまっており、南風原町が 16%、与那原町が 15%、八重瀬町、那覇市がそれぞれ 10%と周辺市町村への通院が多くみられます。
- 佐敷地域、知念地域は与那原町、玉城地域は南風原町、大里地域は地区によって異なりますが、南風原町、与那原町、八重瀬町への通院が多くみられます。

表 9.居住地区別の通院先の構成比

	南城市	南風原町	与那原町	八重瀬町	那覇市	西原町	豊見城市	その他	合計
佐敷北 n=93	35%	12%	19%	2%	4%	11%	3%	13%	100%
佐敷東 n=74	47%	9%	23%	5%	2%	6%	2%	8%	100%
佐敷南 n=37	41%	5%	19%	5%	8%	11%	5%	5%	100%
知念北 n=21	55%	5%	15%	5%		5%	5%	10%	100%
知念東 n=15	27%	13%	13%	7%	20%		7%	13%	100%
知念南 n=36	46%	6%	20%	3%	9%	3%	3%	11%	100%
玉城北 n=35	29%	15%	15%	6%	12%	6%		18%	100%
玉城東 n=44	19%	33%	12%	14%	16%		2%	5%	100%
玉城中 n=30	13%	23%	3%	13%	13%	7%	13%	13%	100%
玉城南 n=33	12%	27%	6%	18%	18%		12%	6%	100%
玉城西 n=49	10%	16%	6%	27%	16%	2%	8%	14%	100%
大里北 n=65	19%	19%	19%	8%	11%	6%	8%	10%	100%
大里東 n=22	23%	18%	23%	5%	14%		5%	14%	100%
大里中 n=81	14%	33%	8%	13%	15%	3%	8%	8%	100%
大里南 n=32	26%	13%	13%	13%	16%	6%	13%		100%
大里西 n=43	21%	14%	14%	26%	10%	2%	2%	10%	100%
つきしろ n=22	32%	5%	27%	5%	5%	14%	5%	9%	100%
久高 n=3					33%	33%		33%	100%
不明 n=11	9%	27%		9%	27%	9%		18%	100%
無回答 n=137	33%	9%	15%	12%	4%	9%	6%	12%	100%
全体 n=883	28%	16%	15%	10%	10%	6%	6%	10%	100%

### 5.3 主な移動手段

- 通院時の移動手段は「車（自分で運転）」が86%、「車（家族等の送迎）」が11%とマイカーの利用が多くなっています。
- 公共交通の利用は「路線バス（市外線）」が3%、「Nバス（市内線）」が2%、「タクシー」が2%、「おでかけなんじい」が1%を占めています。

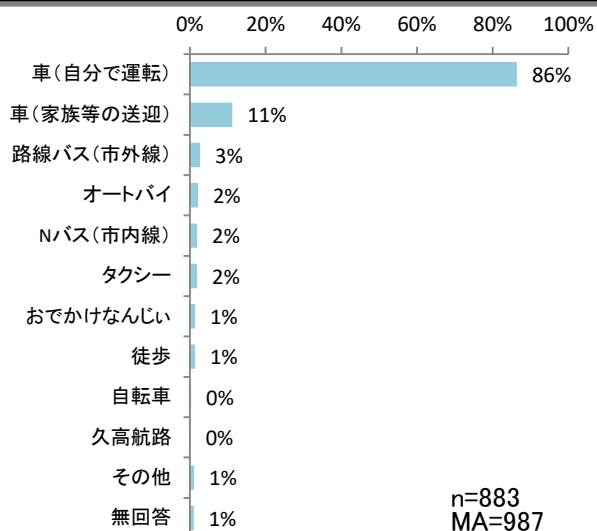


図 22.通院時の主な移動手段(複数回答)

表 10.居住地区別の通院時の主な移動手段(複数回答、抜粋)

	車(自分で運転)	車(家族等の送迎)	路線バス	Nバス	徒歩・自転車
佐敷北(n=93)	85%	13%	2%	—	6%
佐敷東(n=74)	78%	14%	—	4%	—
佐敷南(n=37)	89%	11%	—	—	—
知念北(n=21)	86%	5%	—	—	10%
知念東(n=15)	80%	13%	—	—	—
知念南(n=36)	89%	6%	3%	6%	3%
玉城北(n=35)	83%	11%	—	3%	—
玉城東(n=44)	84%	9%	7%	5%	—
玉城中(n=30)	97%	7%	—	—	—
玉城南(n=33)	97%	6%	—	—	—
玉城西(n=49)	100%	6%	6%	—	—
大里北(n=65)	85%	14%	3%	—	3%
大里東(n=22)	91%	5%	5%	—	5%
大里中(n=81)	93%	14%	2%	1%	2%
大里南(n=32)	97%	9%	—	—	—
大里西(n=43)	86%	12%	5%	—	—
つきしろ(n=22)	95%	9%	—	—	—
久高(n=3)	33%	—	67%	67%	33%

## 6 移動に関して困っていること

### 6.1 移動に関して困っていること

- 移動に関して困っていることとして、「市内での朝夕の渋滞」が31%、「市外での朝夕の渋滞」が25%と多く、市内外での朝夕の渋滞が問題となっています。
- 市内外の朝夕の渋滞については、20代での指摘が最も多く、年代が高くなるほど小さくなる傾向にあります。
- また、バス停までが遠いという指摘は、80代で27%と他の年代よりも高くなっています。

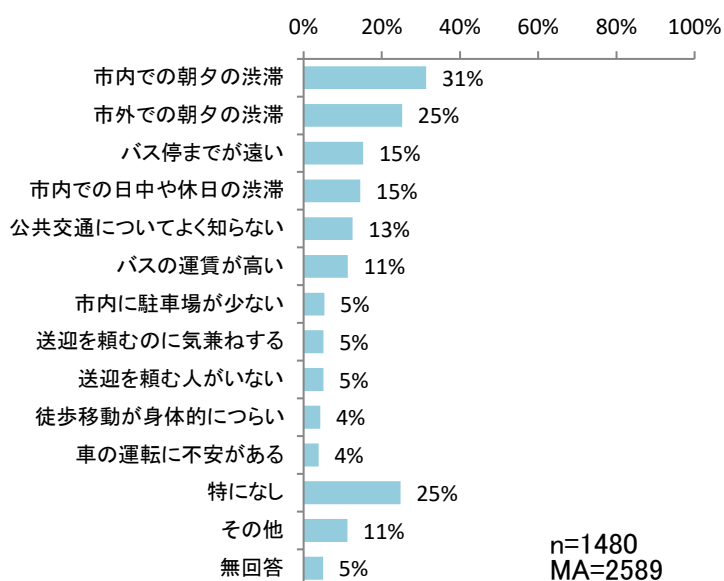


図 23.移動に関して困っていること(複数回答)

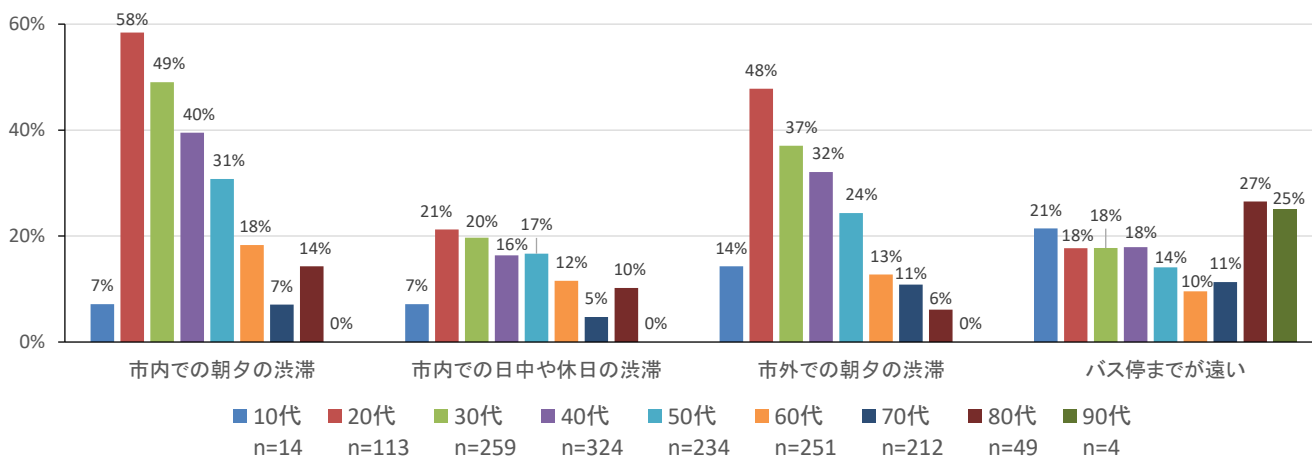


図 24.年代別の移動に関して困っていること(複数回答、抜粋)



- 市内の渋滞については、大里地域やつきしろ地区で問題指摘が多くなっています。コストコ南城倉庫店があるつきしろ地区は、日中や休日の渋滞について 44%が問題指摘しています。

表 11.居住地区別の移動に関して困っていること(複数回答、抜粋)

	市内での朝夕の 渋滞	市内での日中や 休日の渋滞	市外での朝夕の 渋滞	バス停までが遠 い
佐敷北(n=154)	21%	12%	29%	9%
佐敷東(n=104)	20%	8%	17%	25%
佐敷南(n=79)	23%	11%	30%	13%
知念北(n=38)	13%	8%	18%	5%
知念東(n=30)	20%	13%	30%	7%
知念南(n=57)	14%	23%	21%	16%
玉城北(n=61)	36%	26%	21%	11%
玉城東(n=73)	30%	19%	27%	16%
玉城中(n=51)	35%	18%	27%	20%
玉城南(n=47)	32%	11%	34%	13%
玉城西(n=105)	41%	22%	38%	18%
大里北(n=108)	24%	1%	25%	26%
大里東(n=37)	43%	3%	27%	19%
大里中(n=140)	46%	12%	29%	12%
大里南(n=60)	78%	22%	32%	18%
大里西(n=63)	48%	17%	25%	22%
つきしろ(n=50)	50%	44%	24%	8%
久高(n=5)	20%	20%	20%	—

## 6.2 交通が不便なために外出をあきらめている状況

●交通が不便なために外出をあきらめる状況の有無は、年代による大きな差はみられませんが、運転免許証の有無による差が大きく、運転免許証を持っている人の14%に対し、持っていない人の37%、返納した人の45%が外出をあきらめる状況があると回答しています。

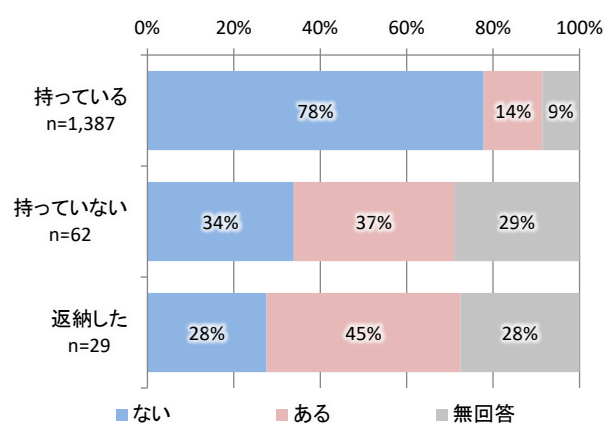
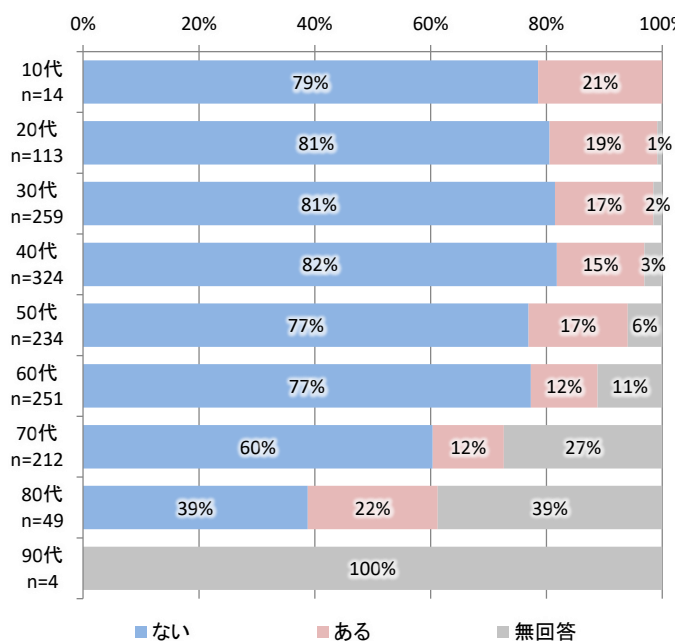


図 25.年代別の外出をあきらめている状況の有無

図 12.運転免許の有無別の外出をあきらめている状況の有無

## 7 公共交通の利用状況

### 7.1 路線バスの利用状況

#### (1) 認知状況

- 「自宅最寄りの路線バスのバス停の位置」、「路線バスの乗車方法」、「路線バスの運賃支払い方法」については10代の認知度が高いですが、10代を除くと、全般には40代～60代の認知度が高くなっています。
- 運転免許証の有無別では、「自宅最寄りバス停を運行する路線バスの行き先については、運転免許証を持っていない人の認知度が高くなっていますが、それ以外については、持っている人の認知度が高い、又はほぼ同じとなっており、運転免許証を持っていない人が必ずしも路線バスについてよく知っているわけではありません。

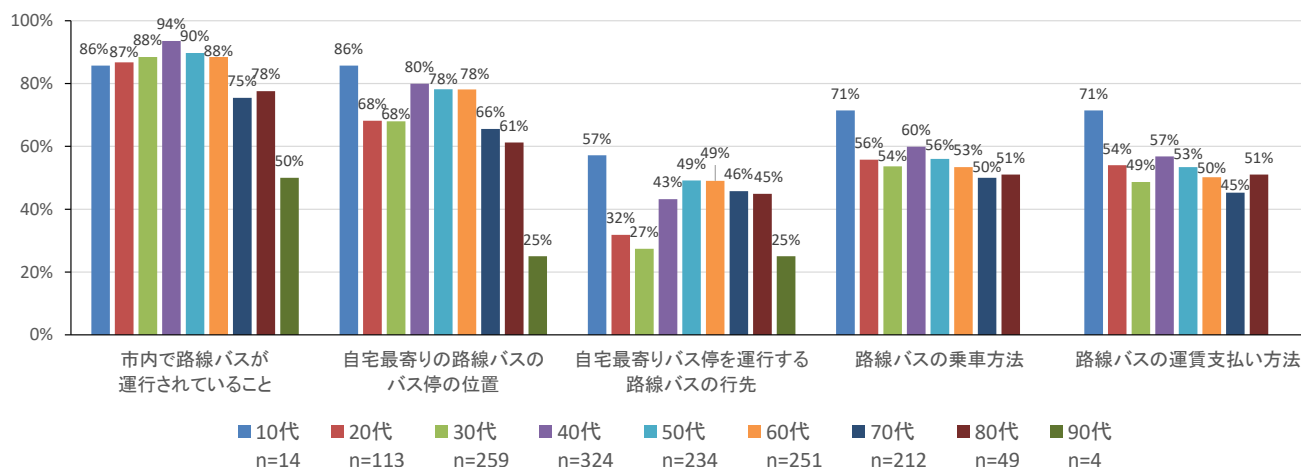


図 26.年代別の路線バスについて知っていること(複数回答)

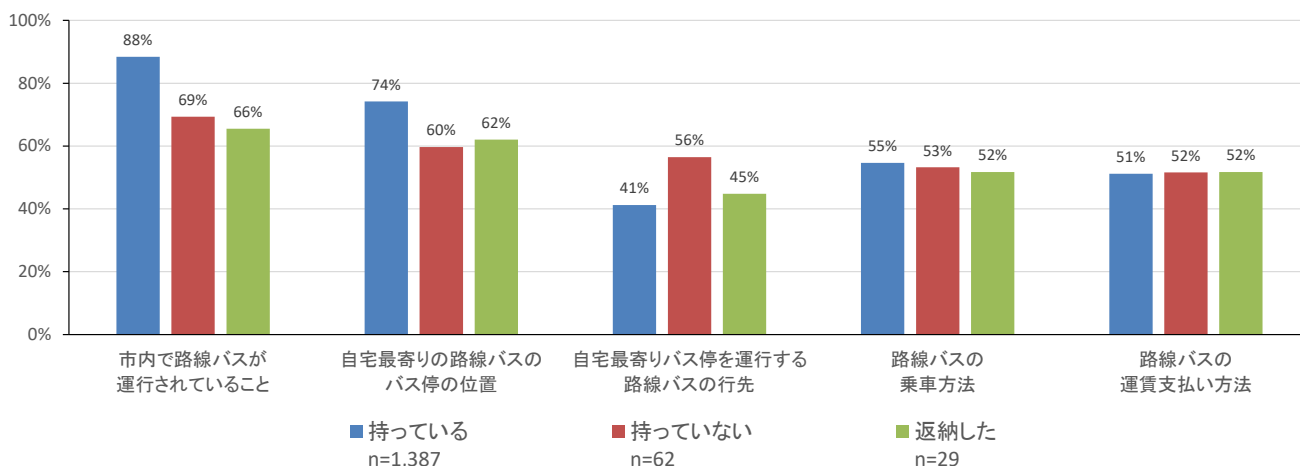


図 16.運転免許証の有無別の路線バスについて知っていること(複数回答)

## (2) 利用状況（利用頻度）

- 年代別の路線バスの利用割合は、10代が64%と高く、20代～70代は20～30%、80代が41%とやや高くなっています。
- 路線バスの利用頻度は、「年に数日程度」が多く、40代の72%、30代、50代では60%以上を占めています。
- 10代は、日常的に利用している割合が高く、「週に5日以上」が3%を占めています。

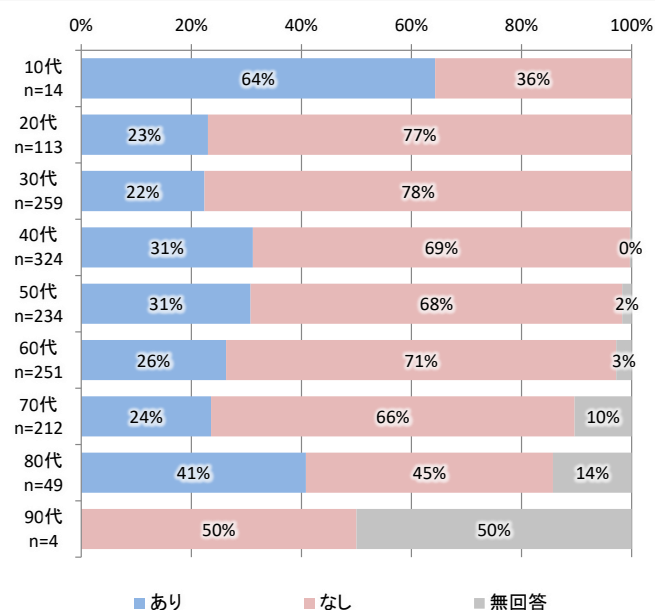


図 27.年代別の路線バスを利用している割合

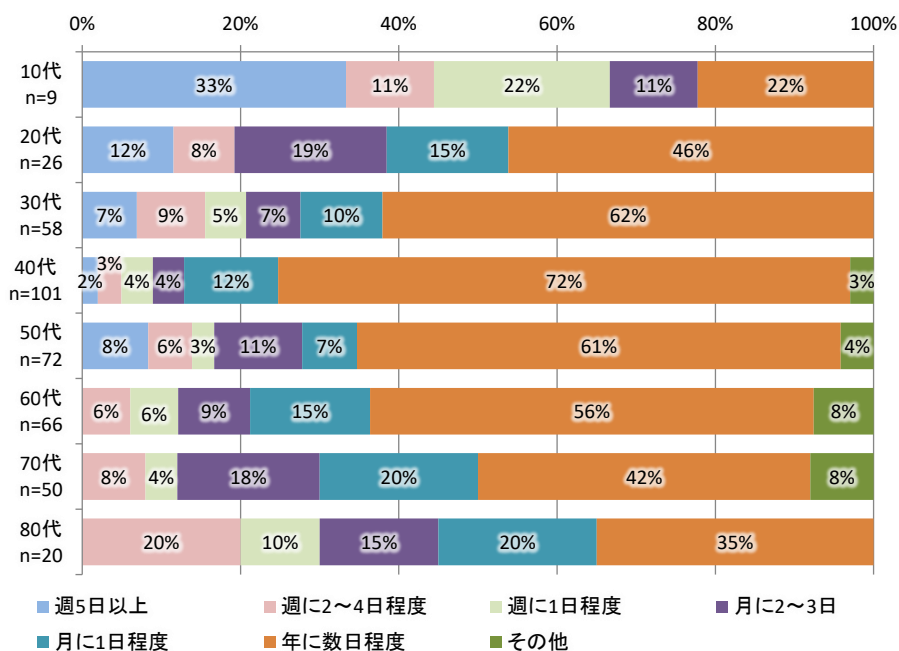


図 28.年代別の路線バスの利用状況

- 運転免許証の有無別の路線バスの利用割合は、持っている方の26%に対し、持っていない人は56%、返納した人は45%と利用率が高くなっています。
- 運転免許証を持っている人は「年に数日程度」が63%と多くを占めていますが、運転免許を持っていない、又は返納した人は、週に1日以上利用する割合がそれぞれ48%、39%と高くなっています。

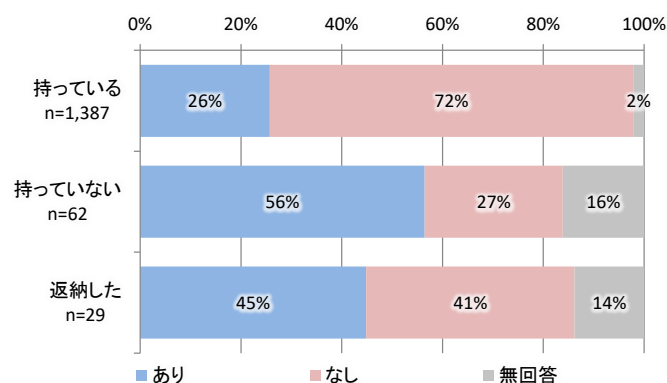


図 29.運転免許証有無別の路線バスを利用している割合

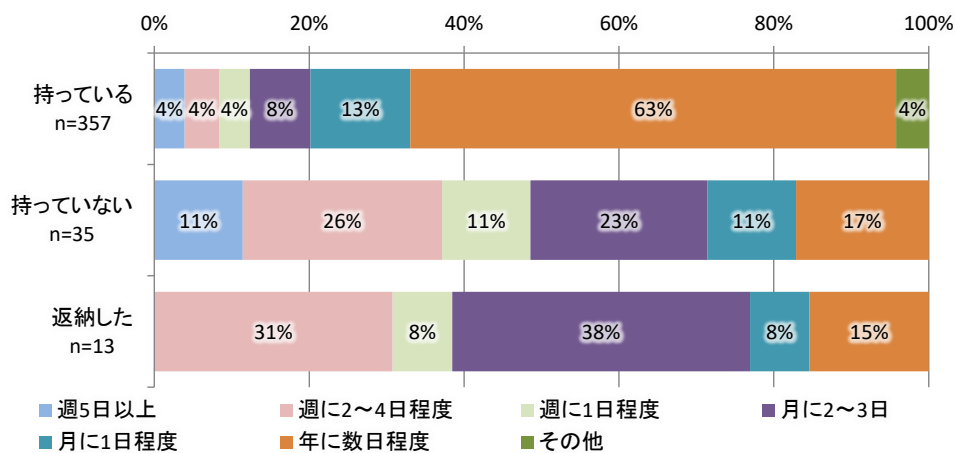


図 30.運転免許証の有無別の路線バスの利用状況

- 地区別の路線バスの利用割合は、運行便数が多い佐敷北地区が42%と高く、その他では大里東地区が38%、玉城北地区、大里南地区が30%と高くなっています。
- 利用頻度は、知念北、玉城北、玉城南、大里東、久高が週に1日以上路線バスを利用する人の割合が20%以上と多くなっています。

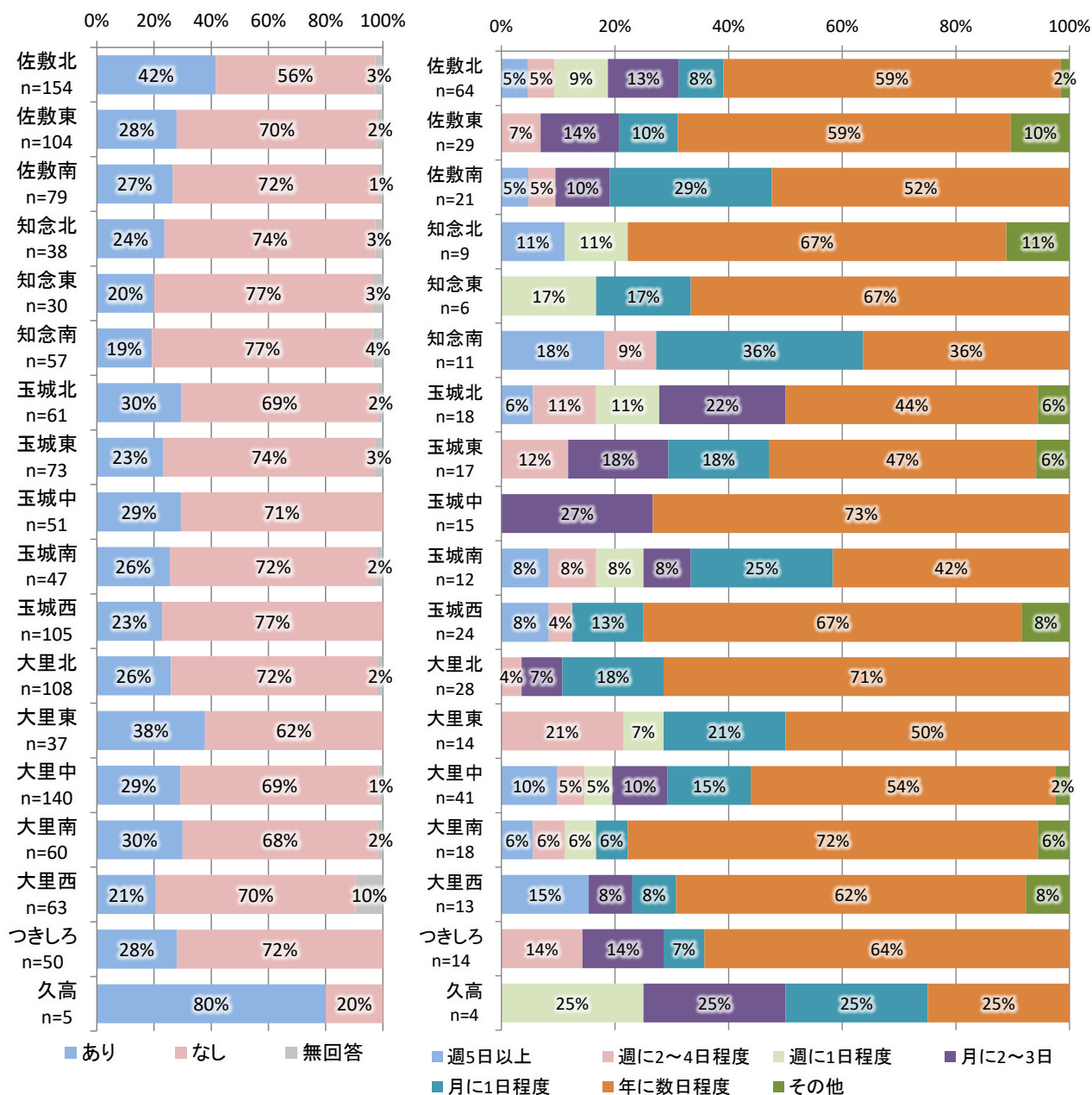


図 31.居住地区別の路線バスを利用している人の割合(左)と利用頻度(右)

### (3) 主な利用目的

- 年代別の路線バスの利用目的は、運転免許証を持っていない人、返納した人の「買い物・飲食」目的での利用が多くなっています。
- 返納した人は「通院・介護・見舞い」、「趣味・習い事・娯楽などの私用」目的での利用も多くなっています。

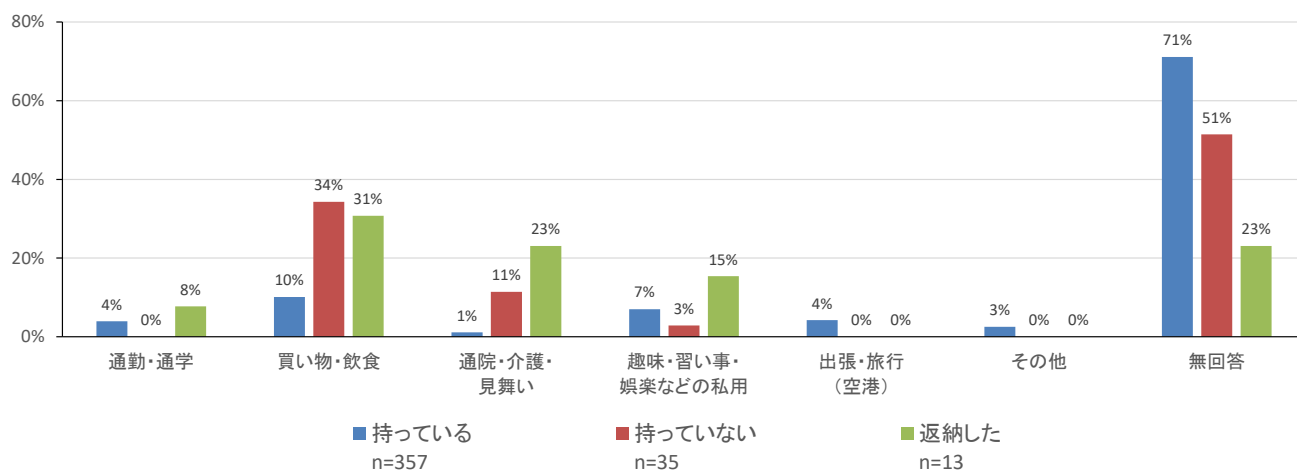


図 32.運転免許証の有無別の路線バスの主な利用目的

## 7.2 N バスの利用状況

### (1) 認知状況

- Nバスに関する認知度は、路線バス同様に10代の認知度が各項目で高くなっています。
- 運転免許証の有無別では、「市内でNバスが運行されていること」については、運転免許証を持っている人の認知度が高くなっていますが、その他の項目は、持っていない、又は返納した人の認知度が高くなっています。

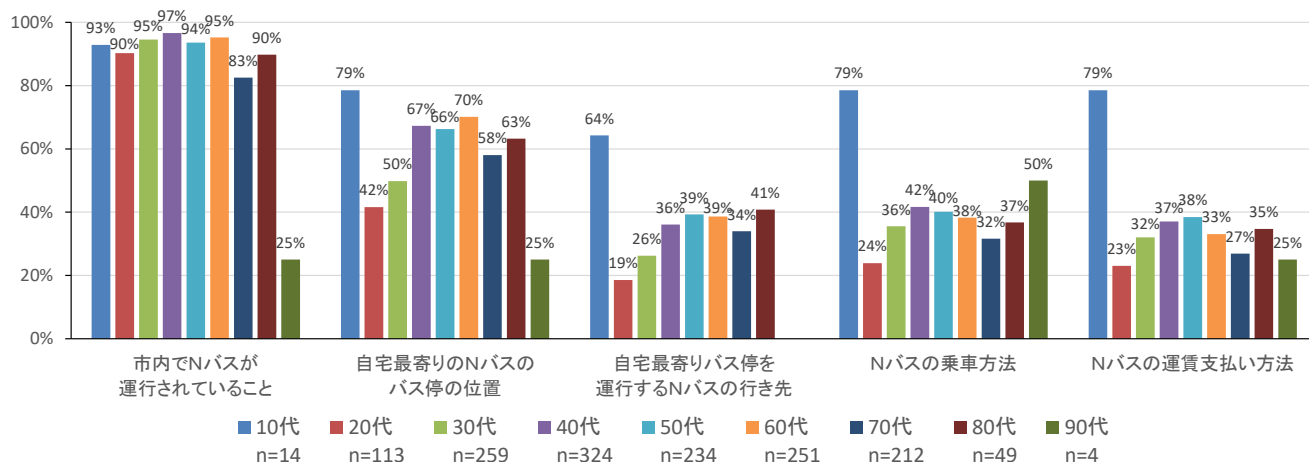


図 33.年代別の N バスについて知っていること(複数回答)

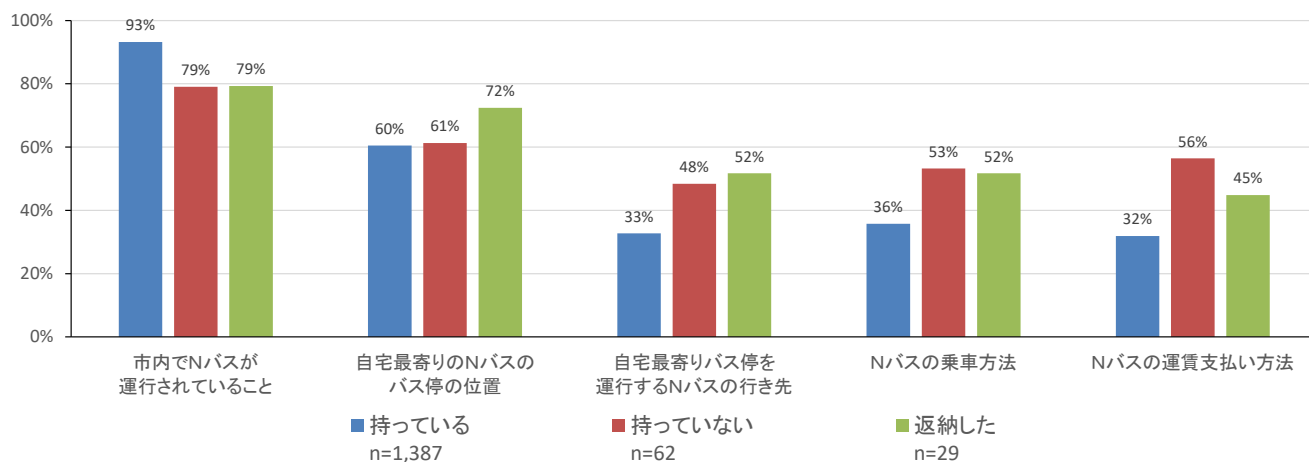


図 16.運転免許証の有無別の N バスについて知っていること(複数回答)



## (2) 利用状況（利用頻度）

- 年代別のNバスを利用している人の割合は、10代71%と高く、20代～70代は20%前後、80代が37%とやや高くなっています。
- Nバス利用者の利用頻度をみると、20代～40代は「年に数日程度」が64%～73%と、日常的には利用していない人が多くを占めています。
- 10代は40%が、80代は45%が週に1日以上利用しており、他の年代に比べ、利用頻度が高い人が多くなっています。50代以降は、年代があがるにつれ、利用頻度も多くなっています。

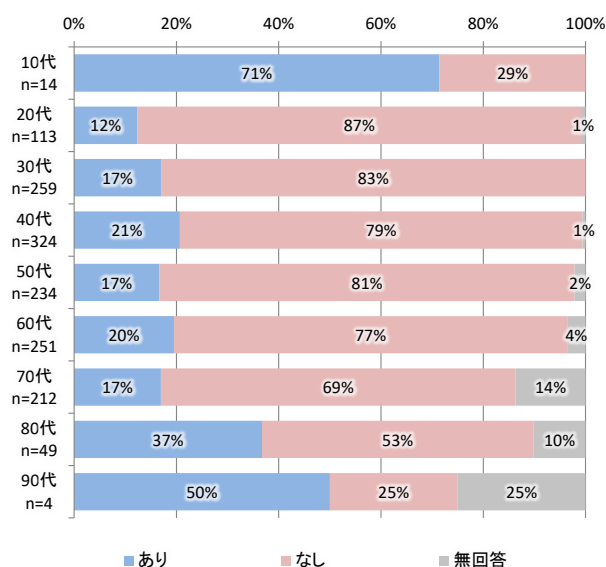


図 34.年代別の N バスを利用している割合

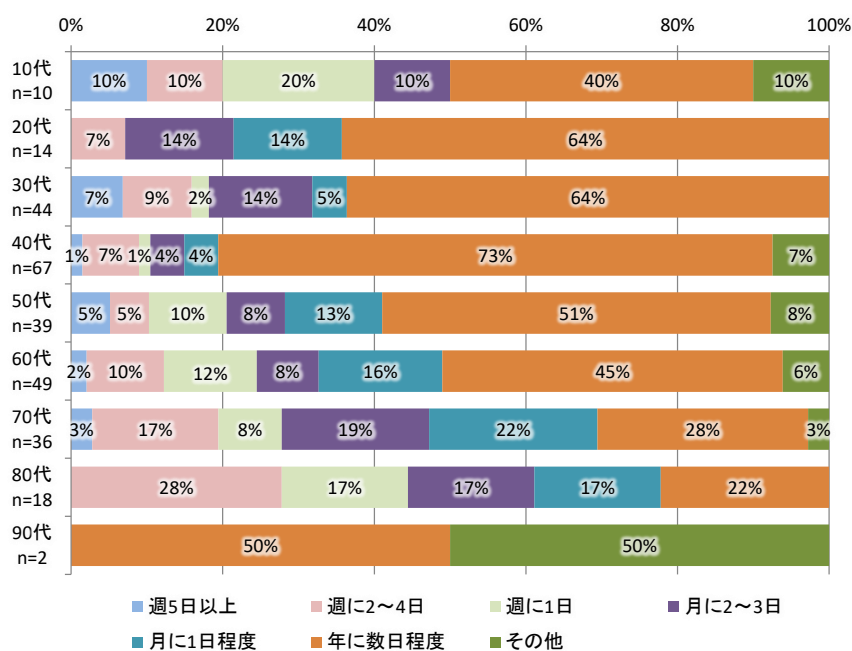


図 35.年代別の N バスの利用状況

- 運転免許証の有無別の N バスを利用している人の割合は、持っていない、返納した人がそれぞれ 58%、52%と利用率が高くなっています。
- 運転免許証を持っている人は、「年に数日程度」が 59%を占めていますが、持っていない又は返納した人は、「年に数日程度」は 17%、27%と少なく、週に 1 日以上利用している人が半数前後を占めています。

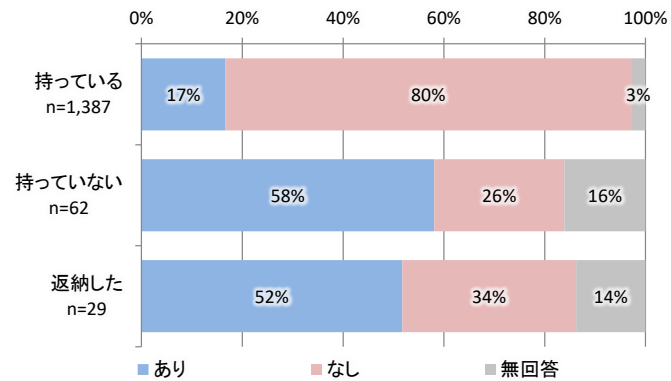


図 36.運転免許証の有無別の N バスを利用している割合

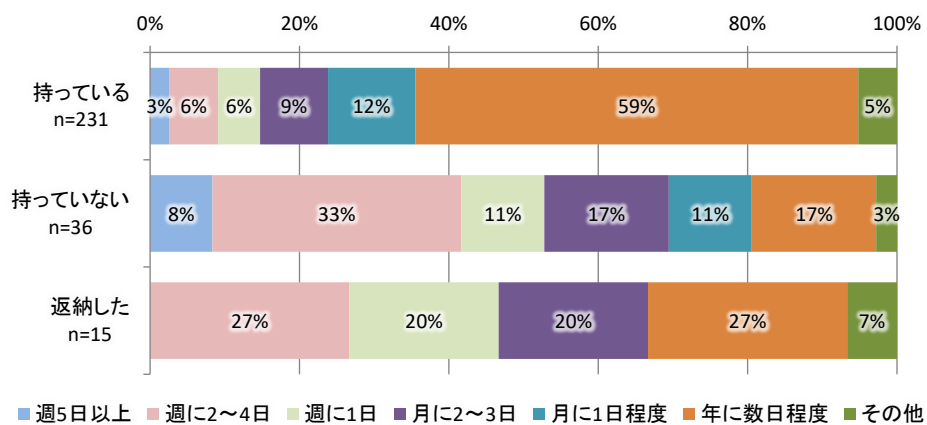


図 37.運転免許証の有無別の N バスの利用状況

- 地区別の利用率は、知念北地区、知念東地区、つきしろ地区で 30%前後と高く、佐敷南地区、玉城西地区、大里中地区、大里南地区、大里西地区で 10%台前半と利用率が低くなっています。
- 地区別では、知念南、玉城東、大里東、久高は週に 1 日以上利用する人の割合が 30%と高くなっています。
- 一方、大里南は日常的に N バスを利用している人が少なく、最も頻度が高いのが「月に 2～3 日」の 13%で、88%は「年に数日程度」となっています。

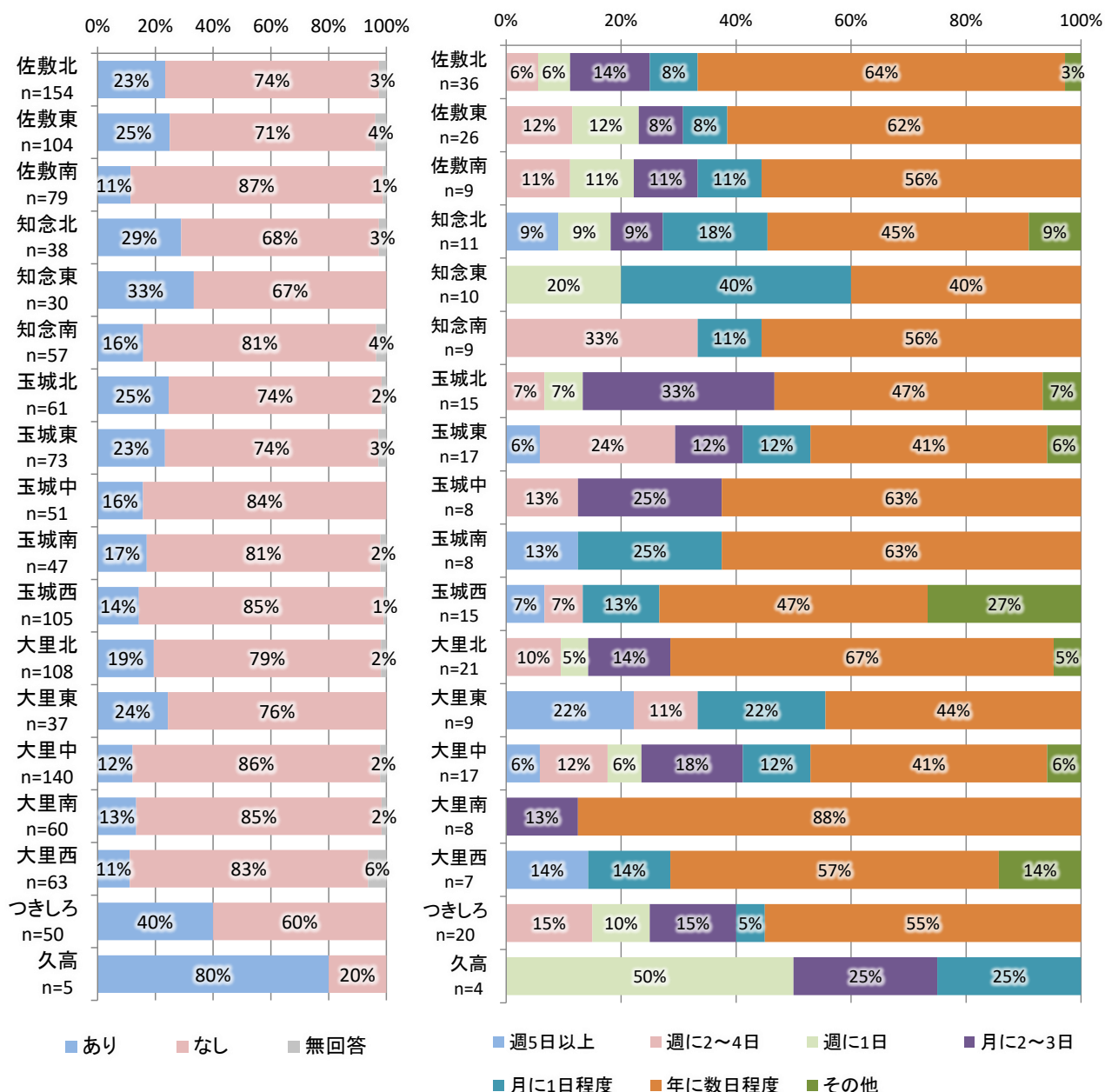


図 38.居住地区別の N バスを利用している人の割合(左)と利用頻度(右)

### (3) 主な利用目的

- 年代別では、70代以上は「買い物・飲食」目的での利用が50%前後と高くなっています。
- 「通勤・通学」、「趣味・習い事・娯楽などの私用」目的での利用は10代～60代で多くなっています。
- 運転免許証の有無別では、持っていない又は返納した人は「買い物・飲食」目的での利用が多く、持っている人は「趣味・習い事・娯楽などの私用」目的での利用が多くなっています。
- 運転免許証を返納した人は、「通院・介護・見舞い」目的での利用が27%と、Nバスの利用目的として「買い物・飲食」について2番目に高くなっています。

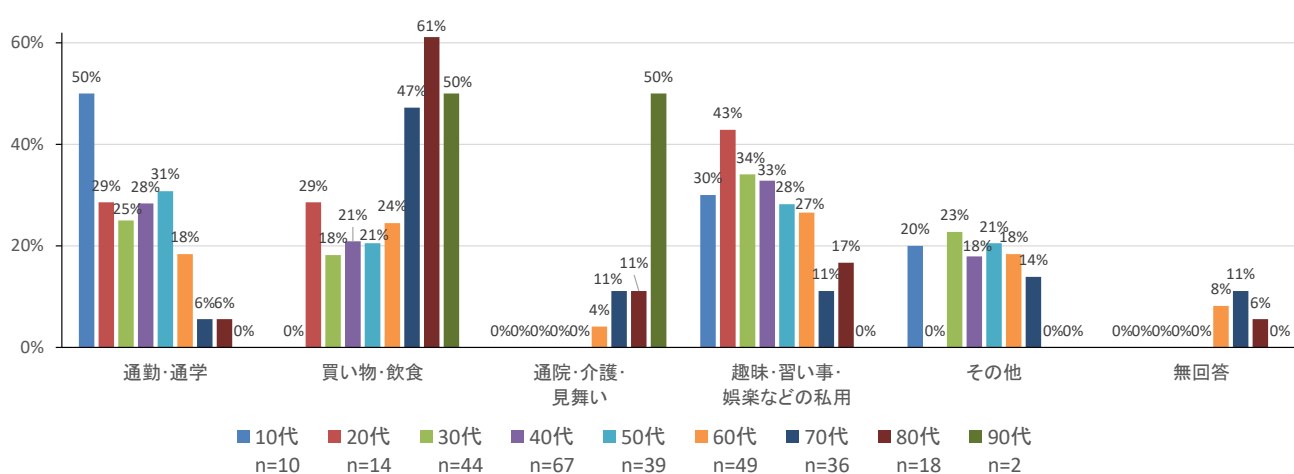


図 39.年代別の N バスの主な利用目的

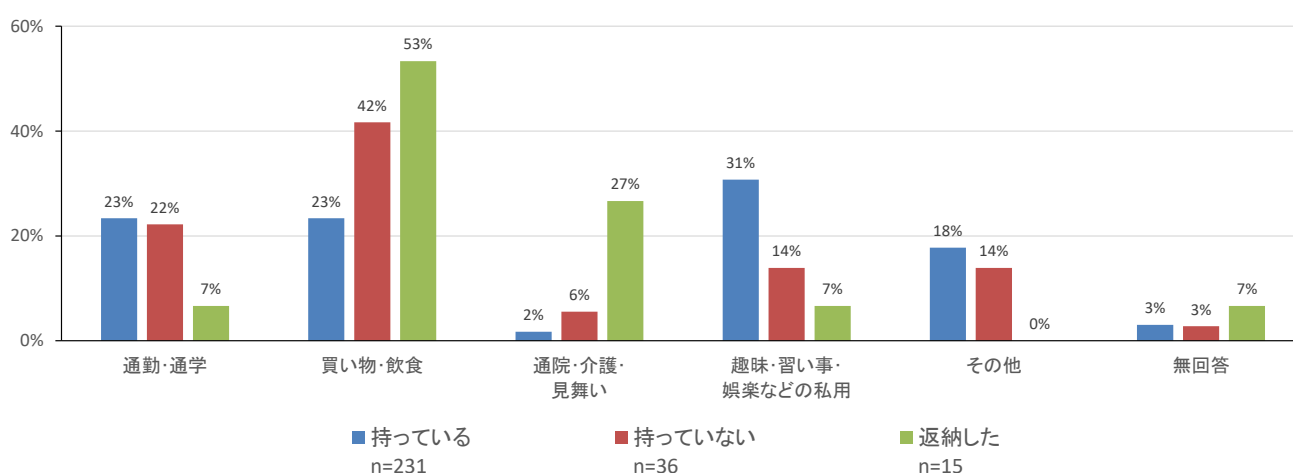


図 40.運転免許証の有無別の N バスの主な利用目的

### 7.3 おでけなんじいの利用状況

#### (1) 認知状況

- 「おでけなんじい」に関する認知度は、年代が高くなるほど高くなっています。
- 「おでけなんじいの利用方法」、「おでけなんじいの運賃」の認知度は、運転免許証を返納した人で 60%前後と高くなっており、おでけなんじいが運転免許証返納後の移動手段として利用されている状況がうかがえます。

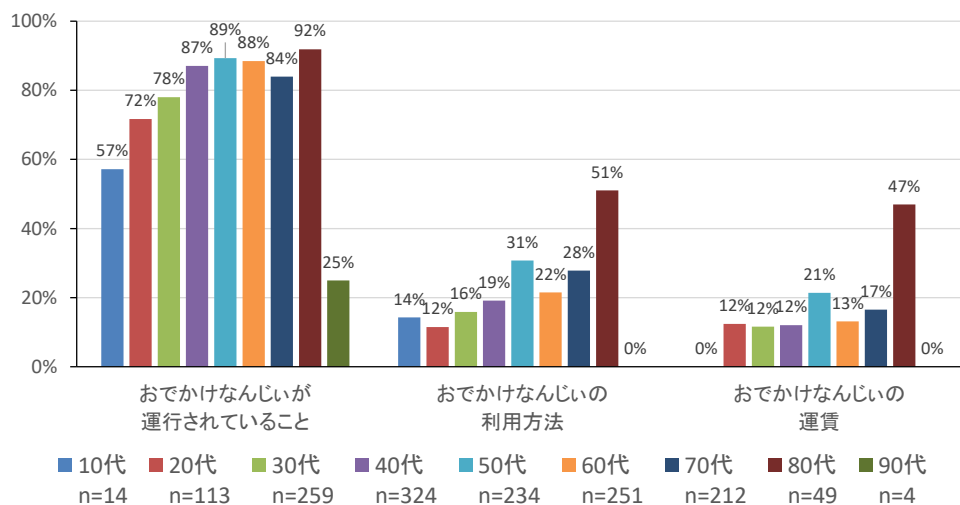


図 41.年代別のおでけなんじいについて知っていること(複数回答)

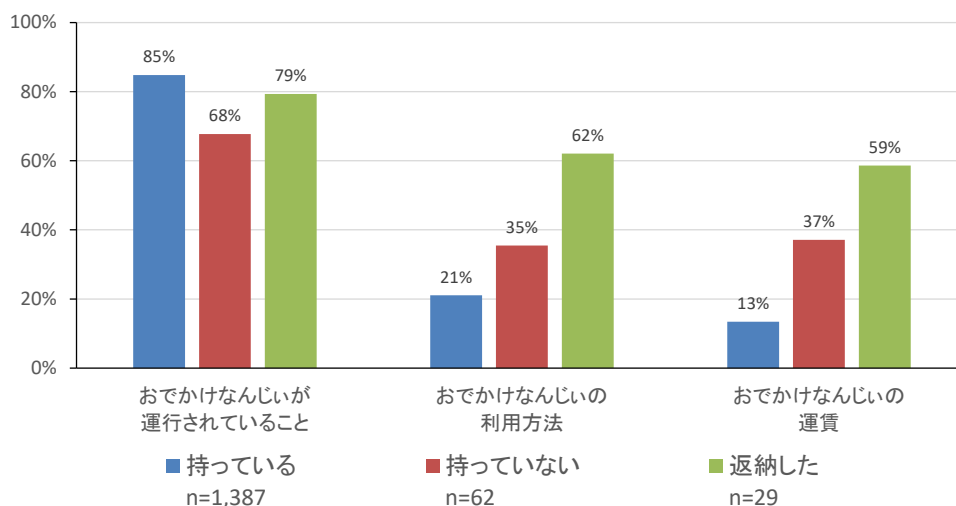


図 16.運転免許証の有無別のおでけなんじいについて知っていること(複数回答)

## (2) 利用状況（利用頻度）

- 年代別のおでかけなんじいを利用している人の割合は、60代までの利用率は4%以下と低く、70代が13%、80代が41%と高齢者の利用率が高くなっています。
- 年代によりばらつきはみられますが、年代が高いほど、おでかけなんじいの利用頻度が多い人の割合が高くなる傾向になっています。

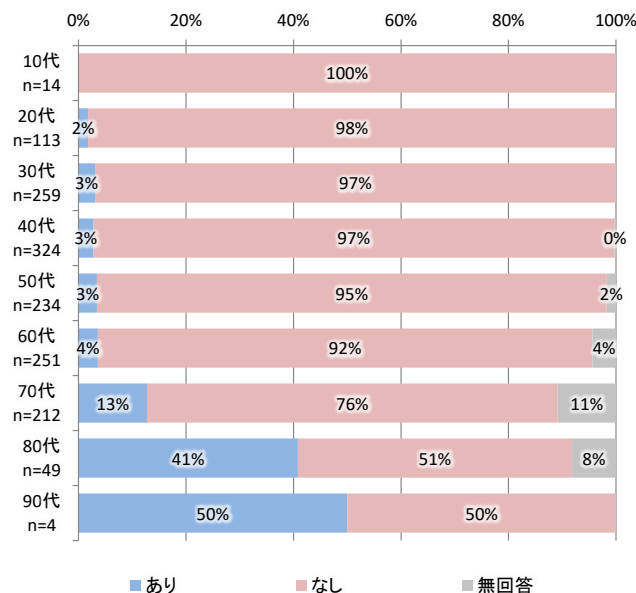


図 42.年代別のおでかけなんじいを利用している人の割合

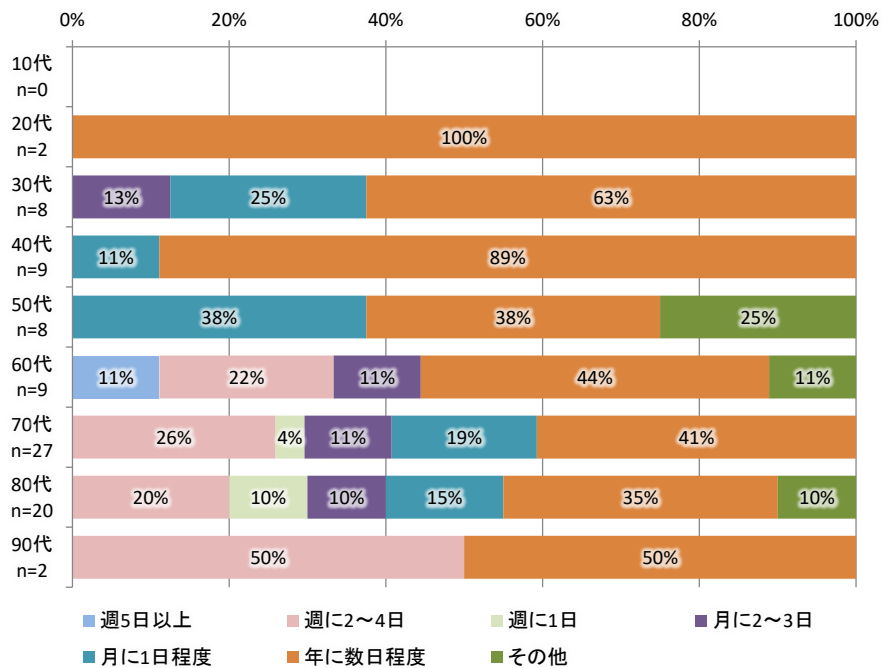


図 43.年代別のおでかけなんじいの利用状況

- 運転免許証の有無別のおでかけなんじいを利用している人の割合は、返納した人の利用率が59%と非常に高くなっています。
- 運転免許証を持っている人よりも、持っていない、又は返納した人の利用頻度が高く、週に2～4日以上利用している人の割合は、持っている人の9%に対し、持っていない人は30%、返納した人は41%と多く、移動に制約がある方の貴重な移動手段として機能していることがうかがえます。

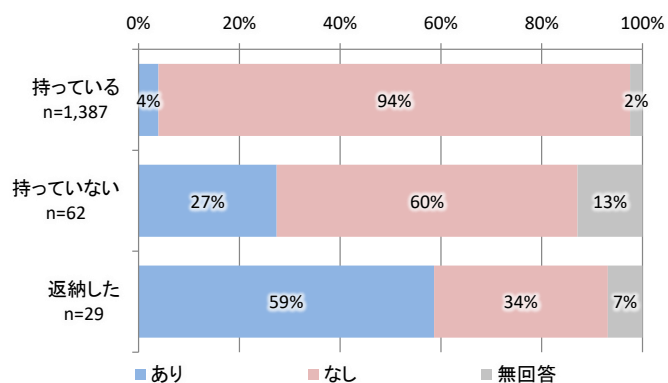


図 44.運転免許証の有無別のおでかけなんじいを利用している人の割合

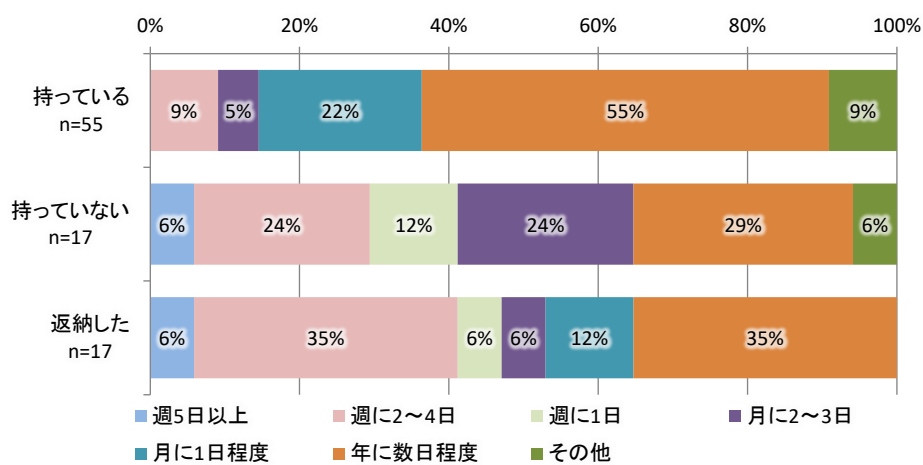


図 45.運転免許証の有無別のおでかけなんじいの利用状況

●地区別のおでけなんじいの利用状況をみると、各地区とも10%以下で大きな差はみられません。

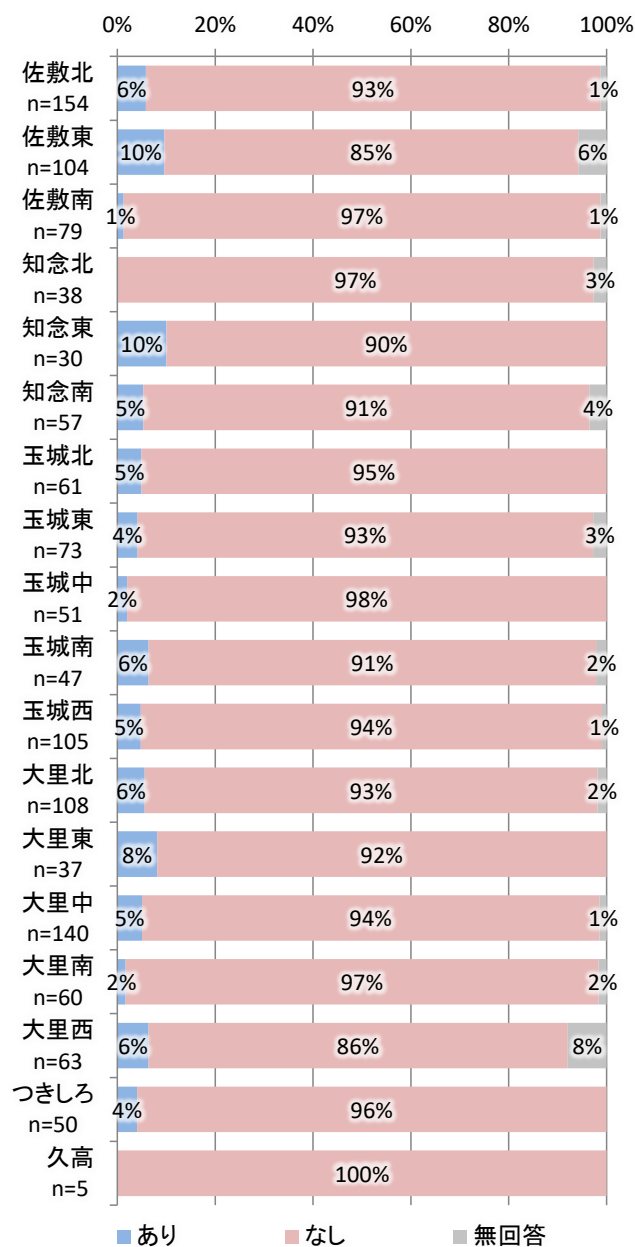


図 46.居住地区別のおでけなんじいを利用している人の割合



### (3) 主な利用目的

- 年代別の主な利用目的をみると、60代、70代は「買い物・飲食」目的での利用がそれぞれ56%、63%と多くなっています。
- 50代は「通勤・通学」目的での63%と多くなっています。
- 運転免許証の有無別では、「買い物・飲食」目的が53%と多くなっています。
- 運転免許証を返納した人は、「買い物・飲食」とともに「通院・介護・見舞い」目的での利用が41%と最も多くなっています。

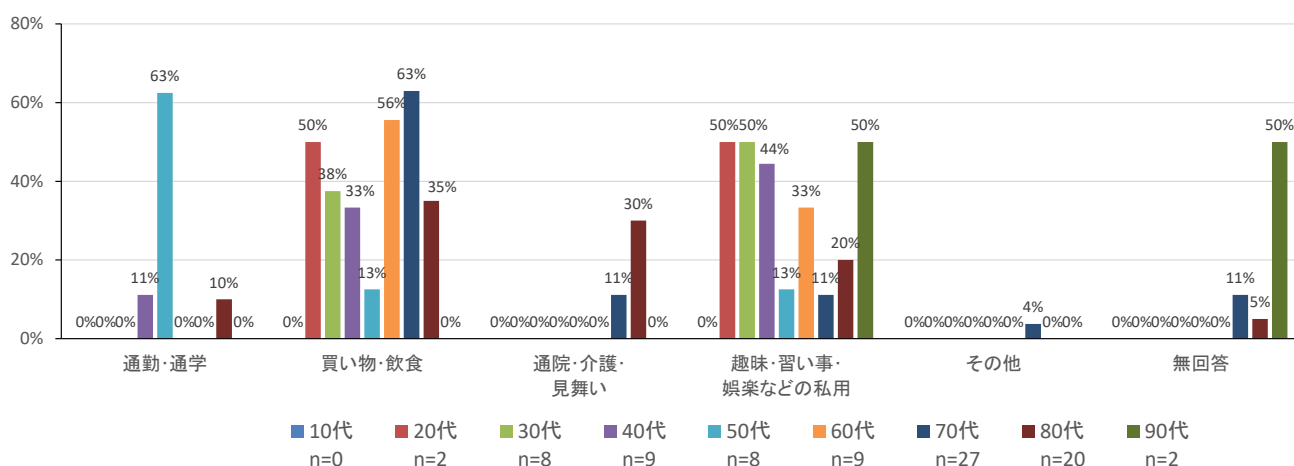


図 47.年代別のおでけなんじいの主な利用目的

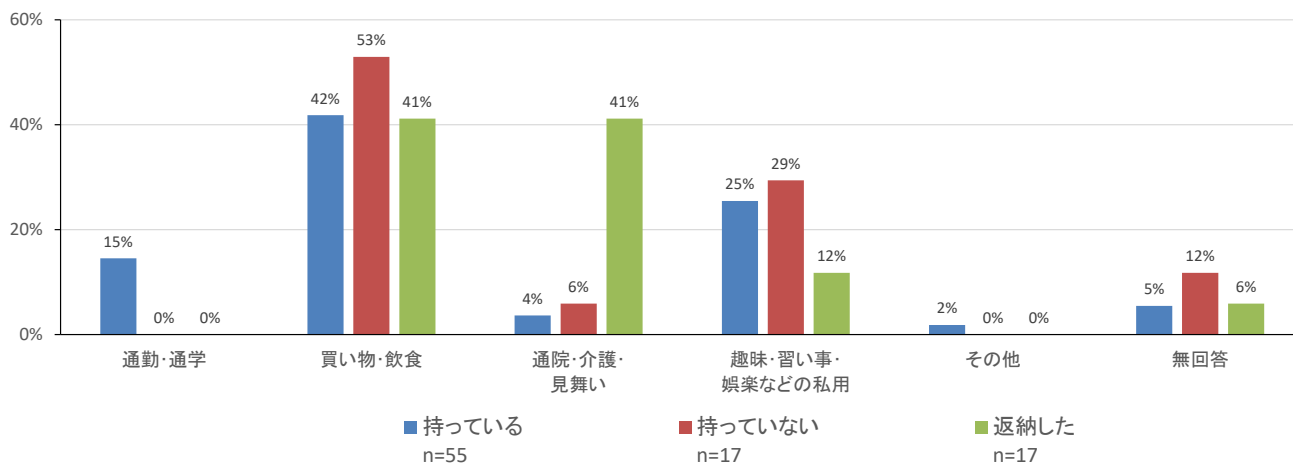


図 48.運転免許証の有無別のおでけなんじいの主な利用目的

## 7.4 タクシーの利用状況

### (1) 利用状況（利用頻度）

- 年代別のタクシーを利用している人の割合は、20代～50代が40%台とやや高くなっています。
- 利用頻度は、10代を除く各年代で「年に数日程度」が70%前後と多くなっていますが、80代は他の年代に比べ「月に2～3日程度」が27%と、利用頻度が高い人が多くなっています。

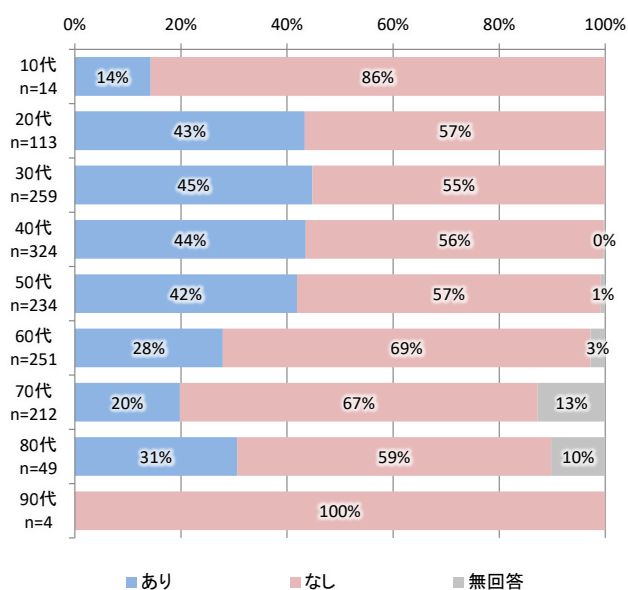


図 49.年代別のタクシーを利用している人の割合

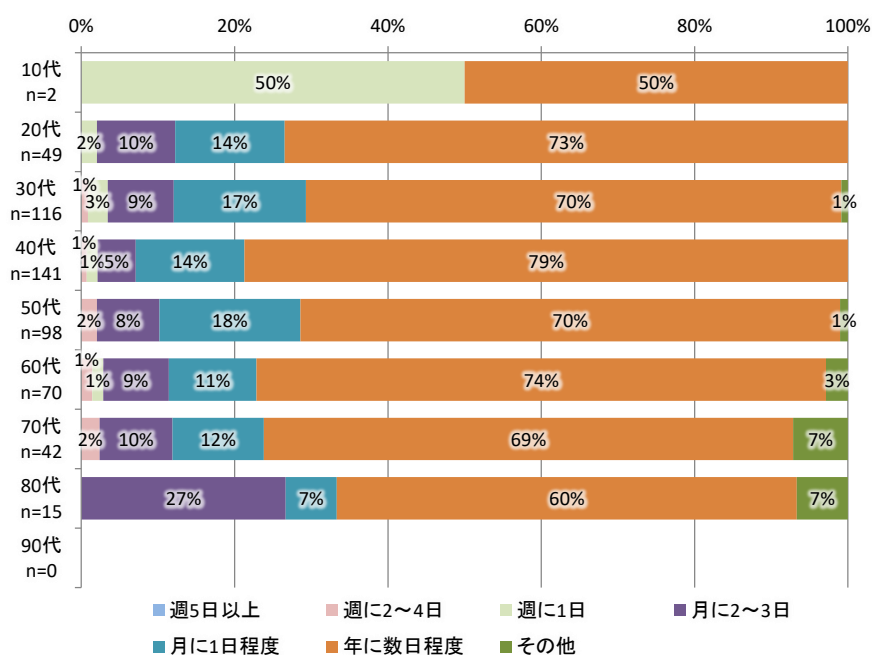


図 50.年代別のタクシーの利用状況

- 運転免許証の有無別のタクシーを利用している人の割合は、返納した人の利用率が55%と高くなっています。
- 運転免許証を持っている人よりも、持っていない、又は返納した人の方が利用頻度は高く、月に2～3日程度以上利用している人の割合は、持っている人の9%に対し、持っていない人は34%、返納した人は38%と非常に高くなっています。

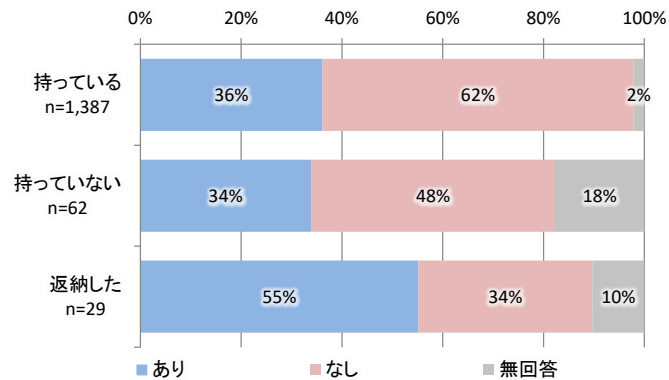


図 51.運転免許証の有無別のタクシーを利用している人の割合

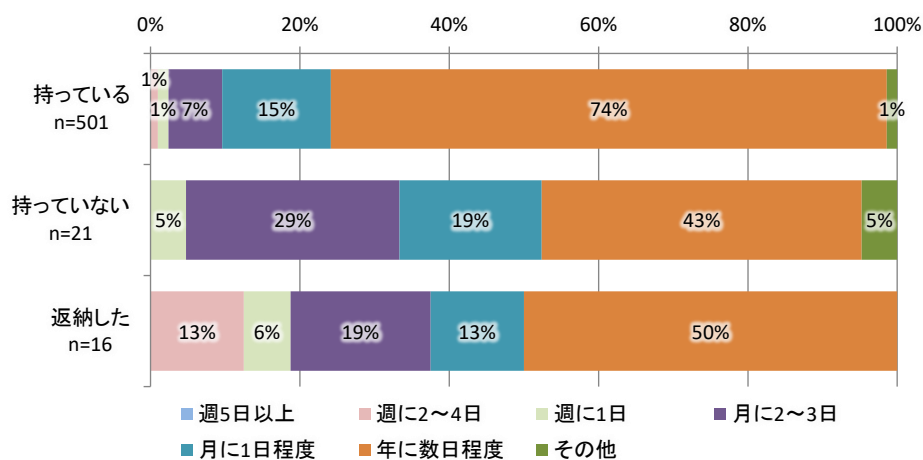


図 52.運転免許証の有無別のタクシーの利用状況

- 地区別のタクシーを利用している人の割合は、知念地域が低く、玉城地域、大里地域が高くなっています。
- 利用頻度は、タクシーの営業所から離れている知念地域で「年に数日程度」の割合が高く、利用頻度が低い傾向がみられます。
- 一方、佐敷南、玉城北、大里東、大里南、久高地区は月に1日程度以上利用している人の割合が40%前後と利用頻度が高くなっています。

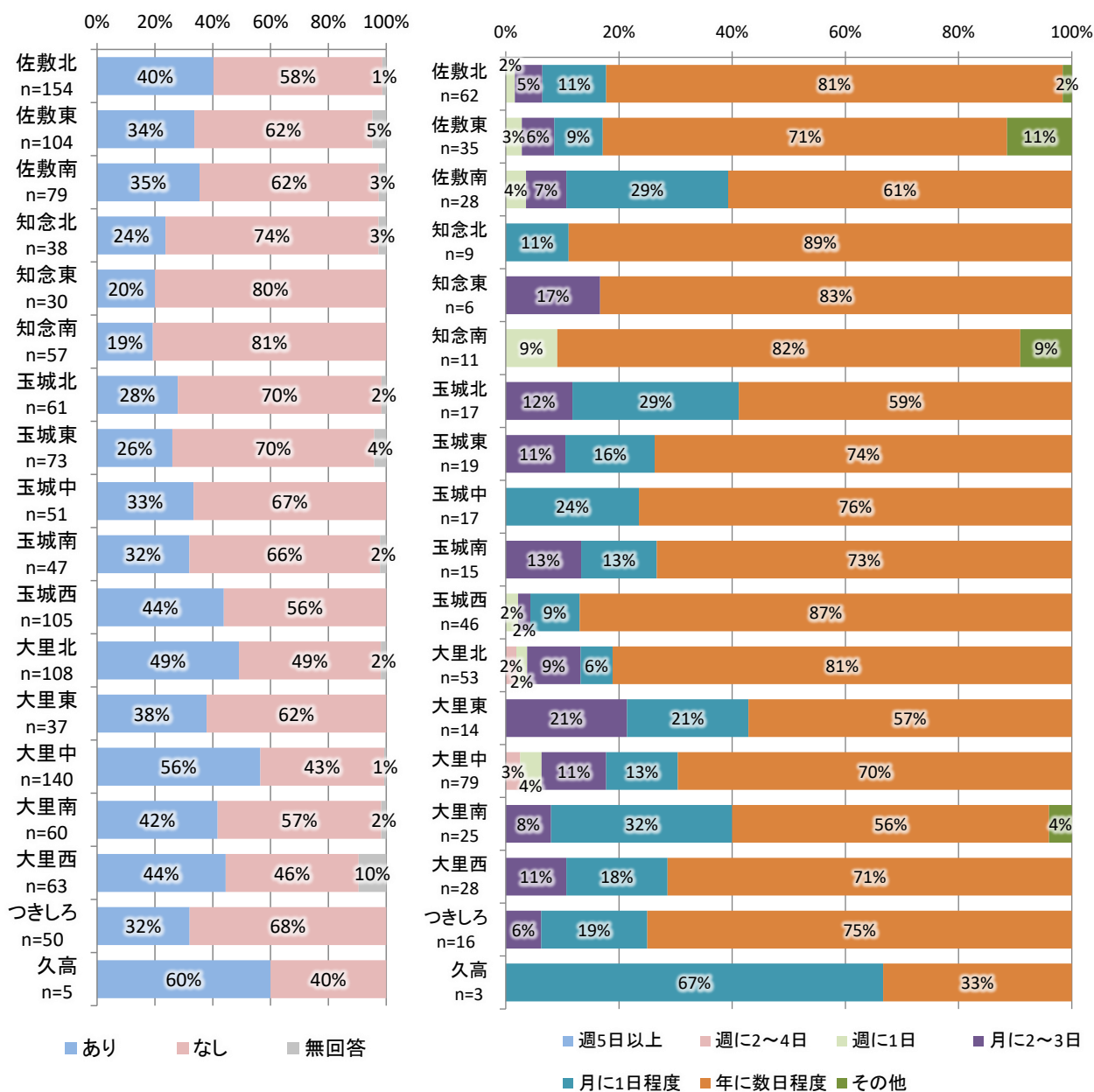


図 53.居住地区別のタクシーを利用している人の割合(左)と利用頻度(右)

## (2) 主な利用目的

- タクシーの利用目的をみると、若い年代ほど「買い物・飲食」目的での利用が多くなっています。
- 80代は「通院・介護・見舞い」目的での利用が53%と過半数を占め、また、年代が高いほど「出張・旅行（空港）」目的での利用が多くなっています。
- 運転免許証を持っている人は、「買い物・飲食」目的での利用が45%と多く、返納した人は「通院・介護・見舞い」目的での利用が75%と利用目的の大半を占めています。

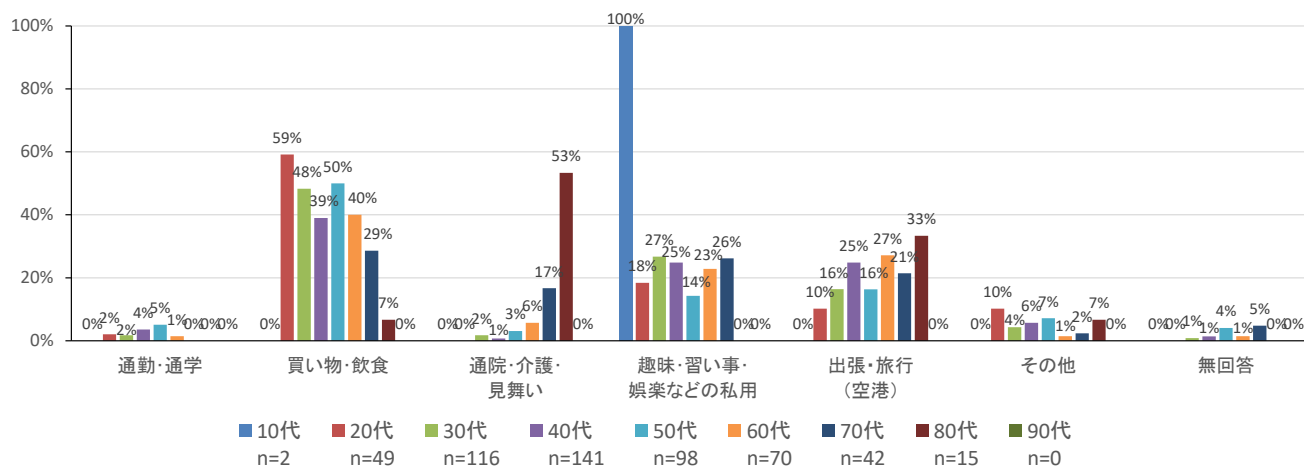


図 54.年代別のタクシーの主な利用目的

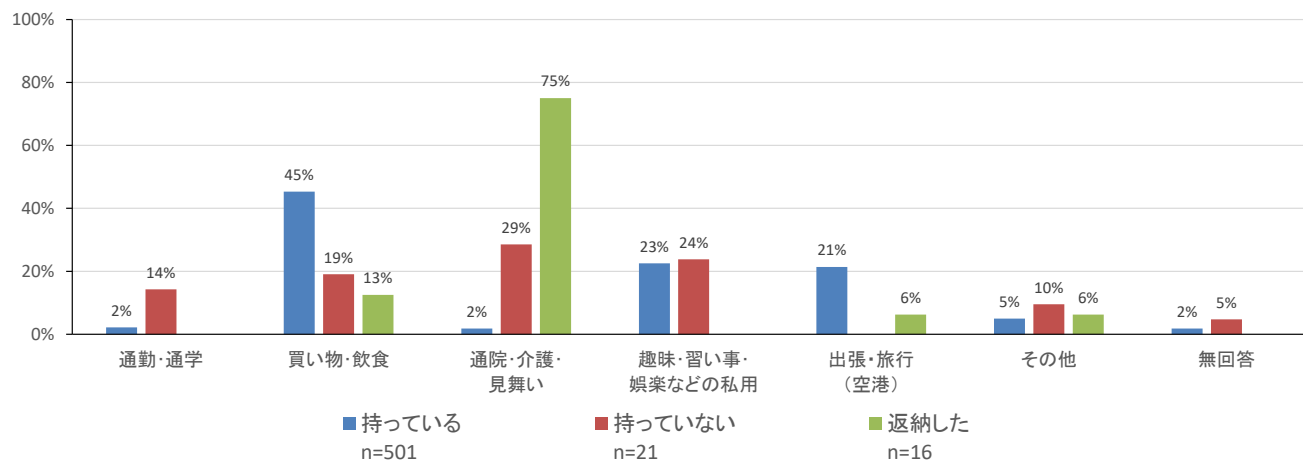


図 55.運転免許証の有無別のタクシーの主な利用目的

## 8 路線バス減便の影響

- 路線バスの減便により、53%は「特に影響はない」と回答している一方で、29%が「市外への外出が不便になった」と回答しています。
- その他では「家族等を送迎する機会が増えた」が18%、「通勤・通学が不便になり、車を利用する機会が多くなった」が10%、「通勤・通学が不便になり、送迎してもらうことが多くなった」が8%と送迎の機会が増えたとの問題指摘が多くなっています。
- 地区別の影響があった人の割合をみると、佐敷東、佐敷南、知念北、知念南、久高地区といった系統38番、338番の沿線や、路線バスの運行系統、便数が少ない大里南、つきしろ地区で影響があったとの回答が50%を超えています

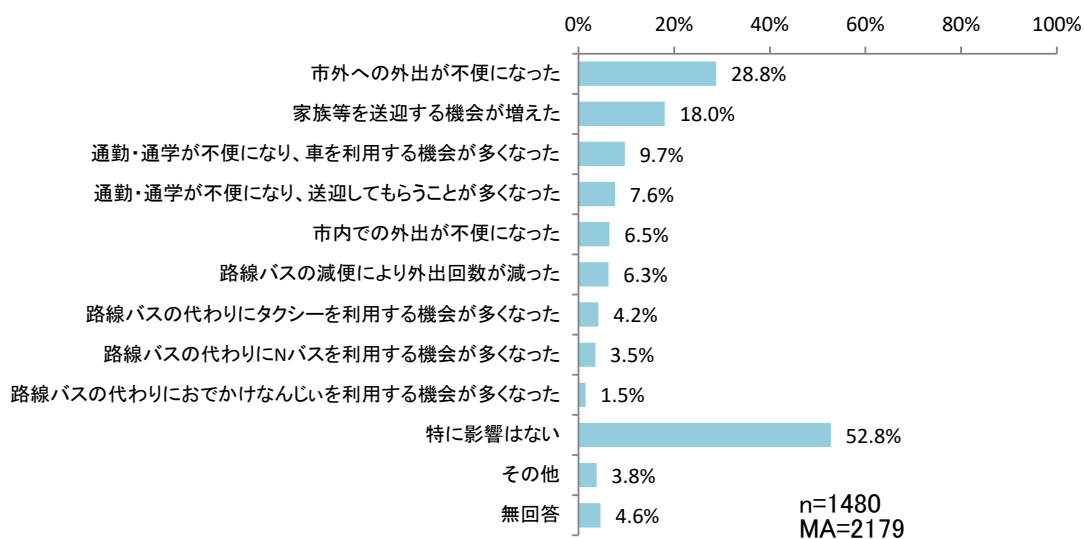


図 56.路線バス減便の影響(複数回答)

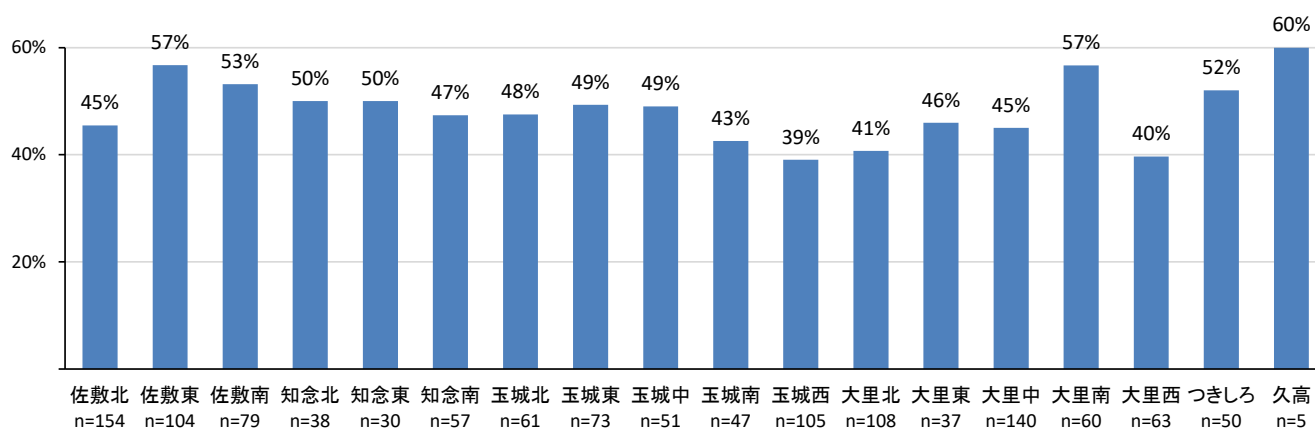


図 57.居住地区別の路線バス減便により影響があった回答者の割合

表 12.居住地区別の路線バス減便による影響(複数回答、抜粋)

	市外への外出が不便になった	家族等を送迎する機会が増えた	通勤・通学が不便になり、車を利用する機会が多くなった	通勤・通学が不便になり、送迎してもらうことが多くなった
佐敷北 (n=154)	35%	12%	8%	3%
佐敷東 (n=104)	32%	24%	9%	5%
佐敷南 (n=79)	37%	20%	6%	10%
知念北 (n=38)	26%	24%	8%	13%
知念東 (n=30)	43%	20%	7%	17%
知念南 (n=57)	26%	26%	14%	11%
玉城北 (n=61)	33%	18%	20%	10%
玉城東 (n=73)	34%	23%	10%	7%
玉城中 (n=51)	31%	29%	10%	8%
玉城南 (n=47)	23%	17%	13%	2%
玉城西 (n=105)	23%	17%	9%	8%
大里北 (n=108)	21%	12%	5%	4%
大里東 (n=37)	38%	19%	14%	22%
大里中 (n=140)	24%	17%	9%	10%
大里南 (n=60)	28%	35%	23%	13%
大里西 (n=63)	16%	17%	11%	5%
つきしろ (n=50)	36%	20%	20%	16%
久高 (n=5)	60%	—	20%	—

## 9 公共交通の評価

### 9.1 路線バス

- 5点満点で路線バスの満足度をみると、「バス乗降のしやすさ」、「バスの乗り心地」、「バス運転手の対応」については、3.0点をを超えており、満足と回答している方が多くなっています。
- 一方、「バスの運行頻度」は全体で2.2点、利用者が2.1点と非常に満足度が低く、「路線バスの運賃」については、全体で2.7点とやや満足度が低くなっています。

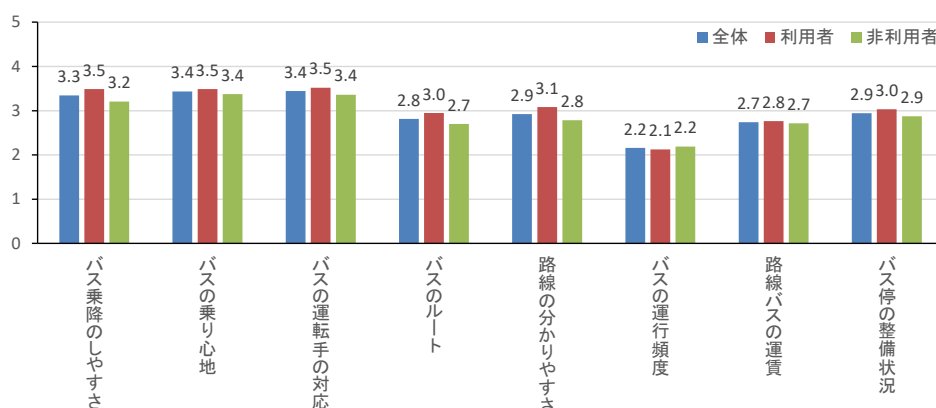


図 58.路線バスの評価

### 9.2 Nバス

- Nバスは路線バスに比べると、全体的に満足度が高くなっています。
- 路線バス同様に「バス乗降のしやすさ」、「バスの乗り心地」、「バス運転手の対応」に加え、「路線のわかりやすさ」、「路線バスの運賃」、「バス停の整備状況」の満足度が3.0点を超えています。
- 一方で、「バスの運行頻度」が全体で2.7点、「バスのルート」が2.8点とやや満足度が低くなっています。

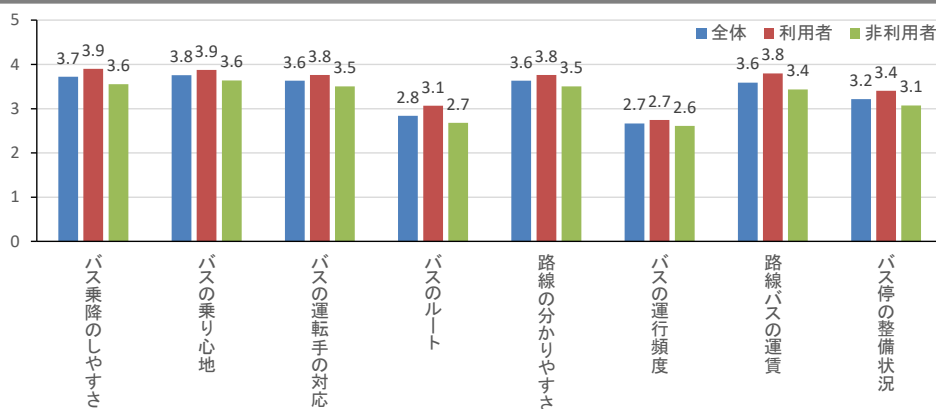


図 59.Nバスの評価



### 9.3 おでかけなんじい

- おでかけなんじいの満足度は、利用者と非利用者の評価の差が大きく、すべての項目で利用者の満足度が高くなっています。
- 利用者からはほとんどの項目で満足度が高くなっていますが、「運行時間帯」のみが 2.9 点とやや低くなっています。

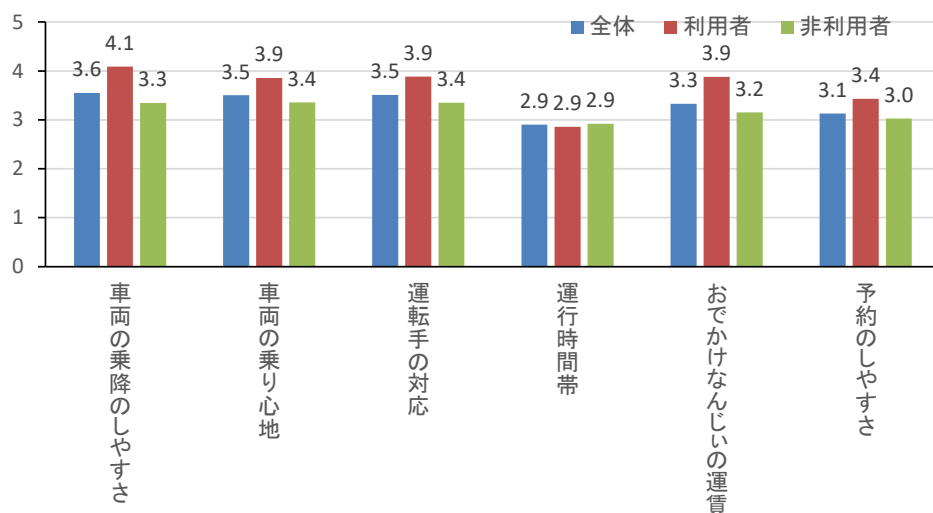


図 60.おでかけなんじいの評価

### 9.4 タクシー

- タクシーについては、満足度が低く、「タクシーの捕まえやすさ」、「タクシーの運賃」ともに全体の満足度が 2.2 点と低くなっています。

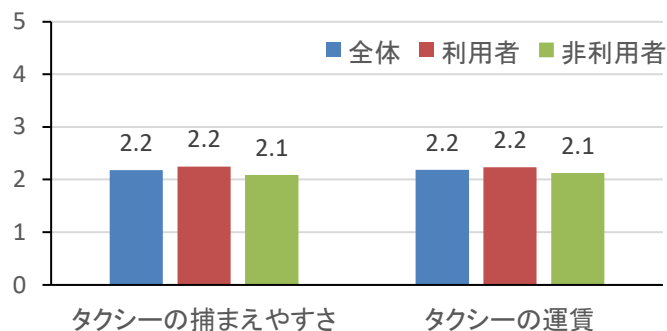


図 61.タクシーの評価

## 9.5 久高島フェリー

●久高島フェリーの満足度は、3.3 点～3.6 点と各項目の満足度が高くなっています。

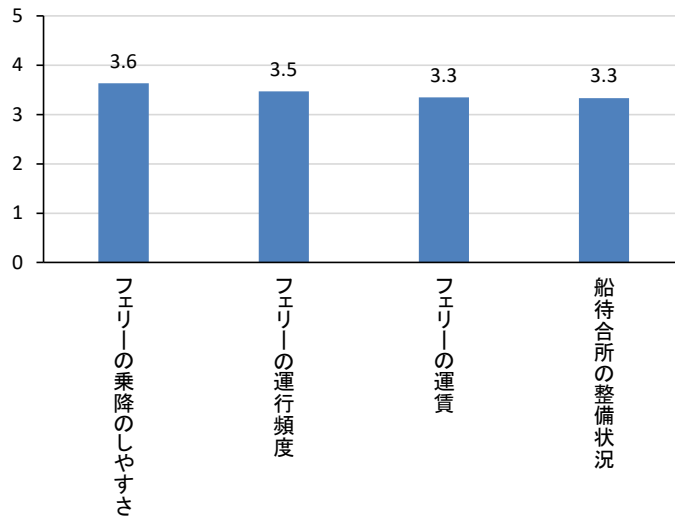


図 62.久高島フェリーの評価

## 10 Nバスの市内運賃について

### 10.1 市民運賃の認知度

- Nバスの市内運賃について、10代は79%が知っていますが、その他の年代は高くて40代の50%にとどまっており、市内運賃の割引について十分に認知されていません。
- 運転免許証を持っていない人には65%が知っていますが、返納した人の認知度は52%にとどまっています。

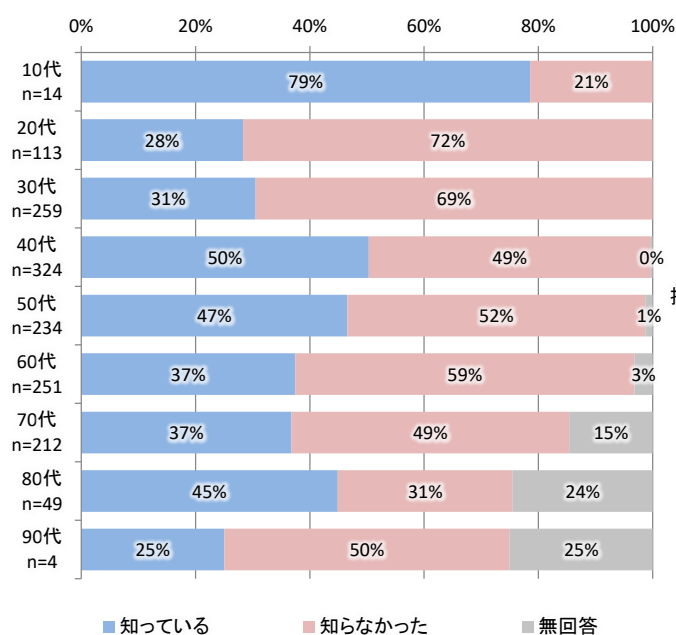


図 63.年代別の市民運賃の認知度

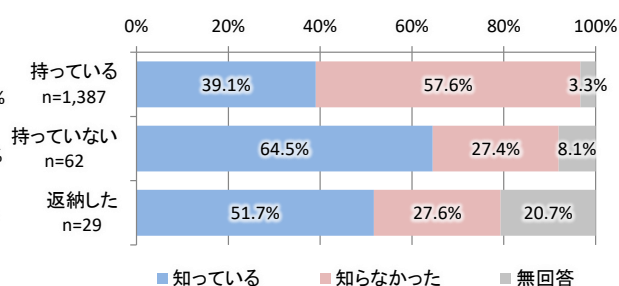


図 64.運転免許証の有無別の市民運賃の認知度

## 10.2 許容支払額

- N バスの運賃設定に対して、どのくらいに人が利用するかをアンケート結果より整理しました。
- たとえば、全体の 100 円に対する利用意向 0.930 は、100 円であれば回答者の 93.0% が利用するという意味になります。（残り 7% は無料などの 100 円未満でないと利用しない）
- 回答者全体と、N バス利用者、N バス非利用者に分けて集計しましたが、傾向は大きく変わりませんでした。
- 運賃 200 円までは、利用意向が 90% 以上と非常に高いですが、250 円になると、全体で 44% とほぼ半減しており、急激に利用意向が低下する傾向を示しています。
- さらに、400 円になると、全体では 4% とほとんど利用意向を示す方がいなくなる結果となりました。

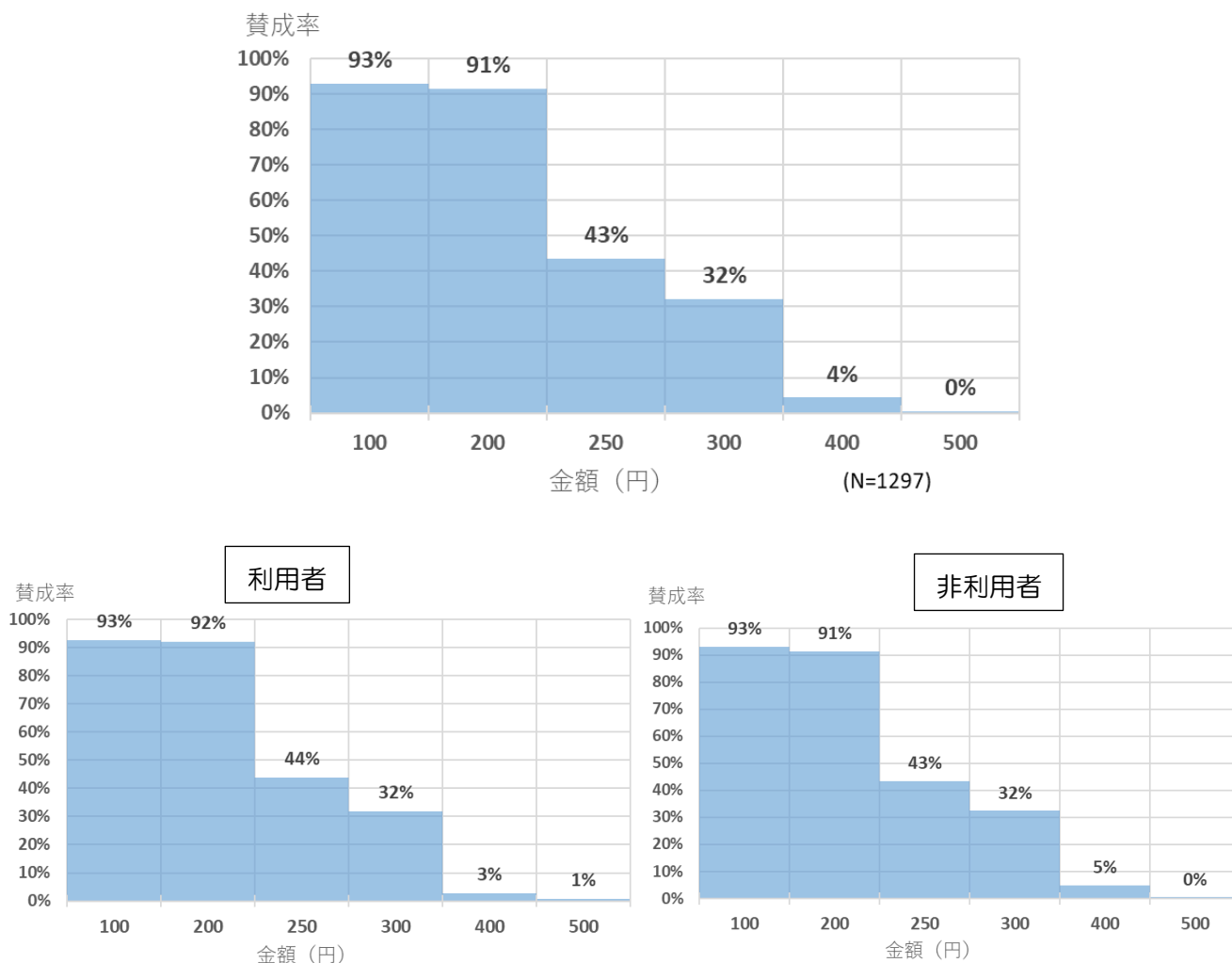


図 65.N バスの運賃に対する支払い意向

## 11 公共交通の情報収集

### 11.1 スマートフォンでのバス時刻の検索

- スマートフォンでのバス時刻の検索状況をみると、10代の71%は「利用する」と回答していますが70代は65%がスマートフォンを持っているものの、利用している人は3%にとどまっており、年代が高くなるほど利用する割合が低くなっています。
- 運転免許証の保有状況別では、返納した人の利用割合が3%と低くなっています。

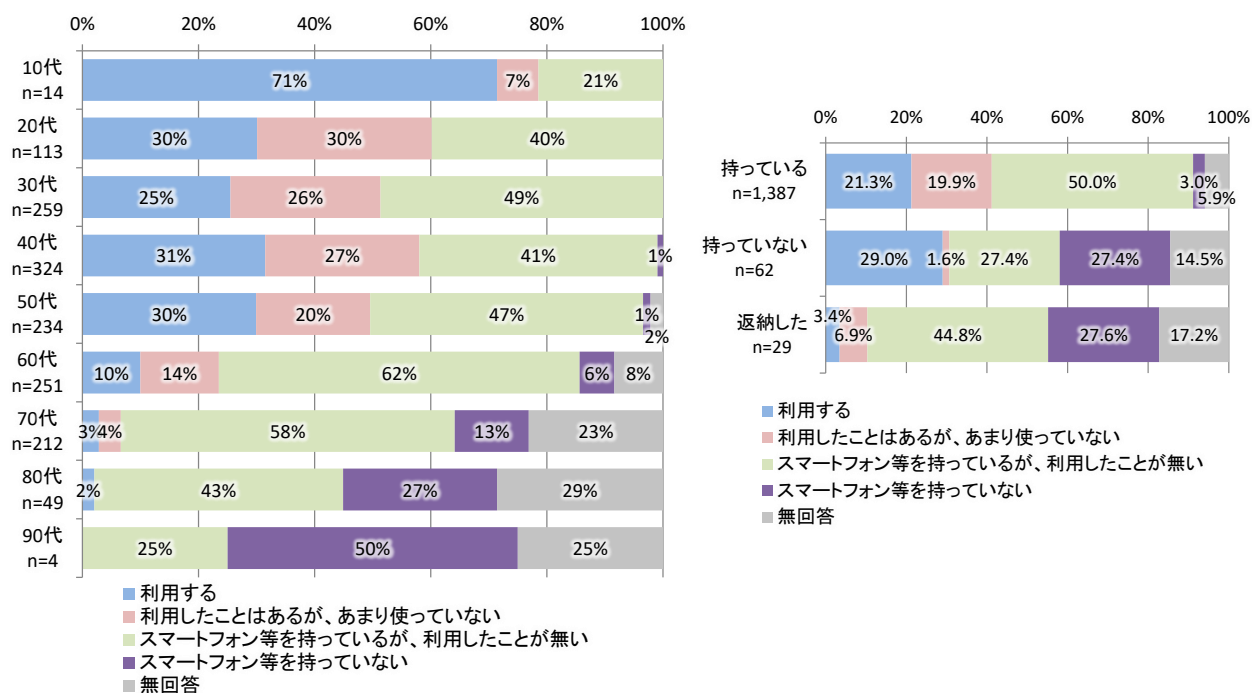


図 66.スマートフォンでのバス時刻の検索状況 (左: 年代別、右: 運転免許証の有無別)

## 11.2 公共交通情報に関して知っている媒体と利用している媒体

- 公共交通情報に関して知っている媒体として「南城市広報誌」が 53%、「南城市ホームページ」が 46%、「南城市公式 LINE」が 30%、「N バスホームページ」が 22%と認知度が高くなっています。
- 利用している媒体も認知度と同様の順に多く利用されています。
- N バスのバスロケーションシステムやインスタグラムなどの認知度、利用率は 10%未満であり、さらなる周知が必要です。

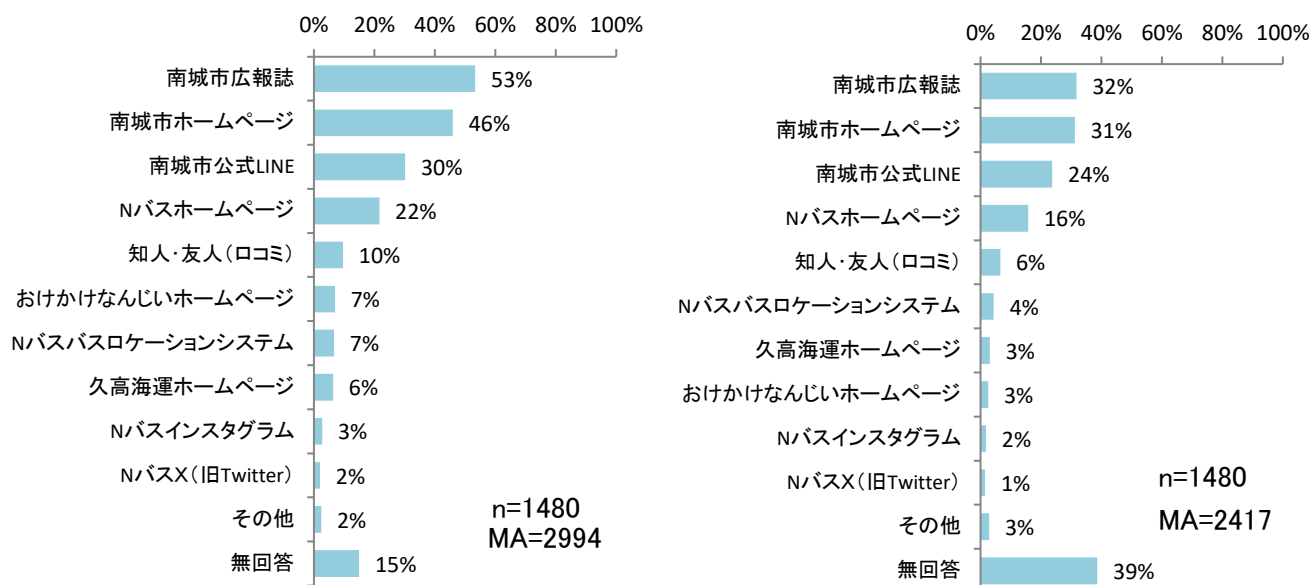


図 67.公共交通情報に関して知っている媒体(左)と利用している媒体(右)(複数回答)

## 12 南城市の今後の公共交通

### 12.1 重点的に取り組むべき施策

- 重点的に取り組むべき施策として「那覇市中心部までの直行バス」が51%、「那覇空港までの直行バス」が50%と非常に高く、那覇市までのアクセス強化を望む声が多くなっています。
- その他では「隣接市町村との交通サービスの連携」が32%、「バス停の待合環境の充実」が27%、「運賃支払い手段の充実」が22%と多くなっています。

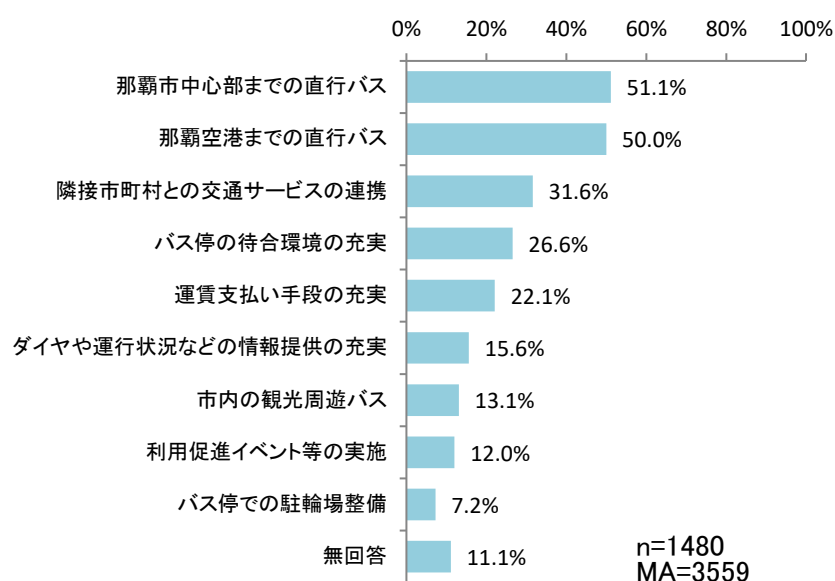


図 68.重点的に取り組むべき施策(複数回答)

## 12.1 アイデア等（自由意見）

●路線バスやNバスなどに関するアイデアや要望などが寄せられています。

### 【市外とのアクセスについて】

- ・Nバスと路線バスの乗り換えターミナルを、増やしてほしい。
- ・乗り換えが分かりやすいアプリ・路線図・時刻表がほしい。

### 【路線バスについて】

- ・便数やバス停を増やしてほしい。
- ・空港線直行便を運行してほしい。
- ・バスの路線図が難しくわかりにくい。
- ・小中学校の登校時間、下校時間帯にもう少し便数を増やしてほしい。

### 【Nバスについて】

- ・便数やバス停を増やしてほしい。
- ・Nバスで乗り換えのない一周バスがあると便利だと思う。
- ・Nバスの乗り換えを無くしてほしい。乗り換えで時間と料金がかかる。
- ・Nバスが全区に通ってほしい。（仲伊保、富祖崎の方）

### 【おでかけなんじいについて】

- ・観光客の利用が多く予約ができない時もある。
- ・運行時間をもっと延ばして欲しい。利用したい時間に運行してない。
- ・1人500円は、家族で使用するには高い。

### 【観光交通について】

- ・Nバスによる市内観光地巡りのツアー設定。（斎場御嶽、玉泉洞、アブラガマ等巡りや城跡巡りのツアーなど）
- ・Nバスで行ける観光地、カフェなどをSNSでもっと発信すると認知度が上がると思う。
- ・バス停の時刻表がわかりにくいので、移住者や観光客がわかりやすくなにか表示があればいい。

### 【その他】

- ・週末のコストコ方面の混雑解消をどうにかしてほしい。
- ・ライドシェア導入や、自動運転化を進めて欲しい。
- ・運転が危険な高齢者が多いので、バスの無料化等サービスを拡張して免許返納を促してほしい。